

2024 年度

早稲田大学大学院

教育学研究科 入学試験要項

修士課程

(学校教育専攻・国語教育専攻・英語教育専攻・社会科教育専攻・数学教育専攻)

一般入学試験
特別選考制度入学試験
外国学生入試

※新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず入学試験の実施内容（出願期間・試験日程・試験内容・合格発表日など）に変更が生じる場合があります。その際は、当研究科 Web サイトにてお知らせしますので、随時確認するようにしてください。
なお、出願開始後に何らかの変更が生じた場合は、当該出願者に対して E メールで連絡することがありますので、出願後は随時メールも確認するようにしてください。

早稲田大学

大学院教育学研究科 入試係

[住所] 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 16号館 2階
[電話] 03-3208-0529
[FAX] 03-3202-2549
[Email] gse-admission@list.waseda.jp
[URL] <https://www.waseda.jp/fedu/gedu/>

[事務所開室時間] 月曜日～金曜日 10:00～16:00

※ 但し次の期間は閉室します ・夏季一斉休業期間（2023/8/14～8/18）の全日

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科入学試験要項

目 次

I. 入学試験日程	1
II. 受験要領	
1. 出願資格	2
2. 募集専攻・人員	4
3. 出願期間・出願方法・出願書類提出先	4
4. 出願上の注意	4
5. 志願者情報 Web 登録	5
6. 入学検定料	6
7. 出願書類	8
8. 受験票の送付	11
9. 試験科目・試験方法	12
10. 試験期日および合格者発表日	13
11. 試験会場	13
12. 合格者発表場所および時間	13
13. 受験上の注意事項等について	14
III. 入学手続	
1. 手続書類の交付	16
2. 入学手続期間・方法	16
3. 入学手続に必要な書類	16
4. 入学手続に必要な入学金・学費・諸会費	17
5. 外国学生（外国籍）の方へ【在留資格「留学」の取得について】	18
6. 特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度	21
7. 提携金融機関（オリコ・楽天銀行）による「早稲田大学学費ローン（入学時）」	22
IV. 募集研究指導一覧・研究指導の内容	
1. 募集研究指導一覧	23
2. 研究指導の内容	25
V. 各コード一覧	
1. 都道府県コード	33
2. 設置区分コード	33
3. 課程区分コード	33
4. 学部コード	33
5. 受験外国語コード	33
6. 研究指導コード	34
7. 出身大学コード	36

個人情報の取扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。

これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PHS・スマートウォッチ等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

I. 入学試験日程

入試種別	一般入試 特別選考制度入試	外国学生入試	
		国内出願	国外出願
出願審査申請期限 【注1】を参照	2023年6月30日（金）（最終日消印有効）		
出願期間	郵送のみ： 2023年7月27日（木）～ 8月8日（火）（最終日消印有効）	郵送のみ： 2023年7月10日（月） ～7月21日（金） （最終日必着）	
一次試験（筆記） 筆記試験	2023年9月16日（土） 集合時間：8時45分 試験開始：9時00分 試験会場：早稲田キャンパス16号館等（予定） ※選考会場・控室は、選考日当日に会場にて発表します。		
一次試験合格発表	2023年9月16日（土）19時00分 発表場所：教育学研究科事務所 掲示板（16号館2階） ※同時刻に教育学研究科ウェブサイト上でも発表		
二次試験（口述） 口述試験	2023年9月17日（日） 集合時間：9時45分 試験開始：10時00分 試験会場：早稲田キャンパス16号館等（予定） ※選考会場・控室は、選考日当日に会場にて発表します。		
合格者発表	2023年9月20日（水）10:00 教育学研究科ウェブサイトにも合格者受験番号表を掲載します。 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/		
入学書類発送	2024年2月上旬（郵送）	2024年11月上旬（郵送）	
入学手続締切	2024年2月20日（火）（消印有効） 【国外出願者については、以下の通り一次と二次に分けて手続を行う。】 （一次）2023年12月1日（金）（郵送必着） （二次）2024年2月28日（水）（郵送必着）		

【注1】出願審査申請期限とは、次の出願資格で出願を希望する方に行う「個別の入学資格審査」の申請期限のことです。

教育学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、入学の時点で22歳に達する者

従って、その他の出願資格（例：大学を卒業した（する見込みの）者等）で出願する方は、「入学資格審査」を受ける必要はありません。

Ⅱ. 受験要領

1. 出願資格

入試区分	出 願 資 格
一 般 入 試	<p>以下の①～⑤のいずれかに該当する者。</p> <p>① 大学を卒業した者、および 2024 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>② 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および 2024 年 3 月までに授与される見込みのある者</p> <p>③ 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者、および 2024 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>④ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑤ 当研究科において、個別の入学資格審査により、大学卒業者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の時点で 22 歳に達する者</p> <p>注 1：英語教育専攻を志願する場合、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された ・ TOEFL iBT 「<u>80 点以上</u>」(MyBest®スコアも可) (TOEFL iBT Home Edition は原則不可) ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「<u>6.5 点以上</u>」 (Computer-delivered IELTS も可) のいずれかのスコアを有している (*) こと。</p> <p>注 2：<u>外国において通常の課程による 16 年目の学校教育を修了および修了見込みの外国学生は、外国学生入試での受験となります。</u></p> <p>注 3：上記「⑤」に該当して出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を行いますので当研究科事務所へ問い合わせてください。 (事前の出願資格審査書類提出締切：2023 年 6 月 30 日 (金) ※最終日消印有効)</p>
特 別 選 考 制 度 入 試	<p>次の A、B の資格を共に有する者。</p> <p>A. 「一般入試」の出願資格を満たすこと。ただし、次の点にご注意ください。</p> <p>① 2024 年 3 月までに「大学卒業見込み」または「学士の学位取得見込み」の者は対象外。</p> <p>② 英語教育専攻を志願する場合、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された ・ TOEFL iBT 「<u>80 点以上</u>」(MyBest®スコアも可) (TOEFL iBT Home Edition は原則不可) ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「<u>6.5 点以上</u>」 (Computer-delivered IELTS も可) のいずれかのスコアを有している (*) こと。 *ただし、英語を媒介とするプログラム (EMI) で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とする。 *EMI であることが記載されている Certificate か、そうでない場合は EMI であることの証明 (手紙：推薦状ではない) を担当教員に書いてもらい、提出する。</p> <p>B. 以下の (1) および (2) のいずれにも該当すること。</p> <p>(1) 当課程入学までに、下記いずれかの職 (①・②・③の合算も可) において継続して 3 年以上の職務経験を有する者。</p> <p>① 学校教育法第 1 条に定める学校の専任教員</p> <p>② 社会教育機関の専任の職</p> <p>③ 教育行政機関の専任の職</p> <p>※いずれも専任に準ずる職を含む</p> <p>(2) 教育の研究・実践に関し相当の経験と業績を有する者。なお現職の場合は、下記「a」・「b」の条件を満たしうる者。</p> <p>a. 初年度は、在職校等の勤務を離れて、就学に専念できること。</p> <p>b. 2 年目は、初年度同様勤務を離れて指導を受けること。あるいは在職校等に復帰する場合は、勤務しながら週 1 回程度通学し指導を受けることが可能であること。</p> <p>※【現職教員等の学生の履修方法の特例】</p> <p>1. 教育上特別に必要があると認められる場合には、特定の時間または時期において、適当な方法により授業または研究指導を行うことがある。</p> <p>2. 上記の方法による履修を希望する学生は、入学志願の際にその旨を申し出なければならない。 連絡先：教育学研究科入試係 (gse-admission@list.waseda.jp)</p> <p>3. 特例の適用を受けた学生は、第 1 年次は通常の形態による授業および研究指導を受け、第 2 年次は指導教員の指示に従って定期的に研究指導を受けなければならない。</p>

外国学生入試

以下の①～③のいずれかに該当する者。

- ① 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者、または 2024 年 3 月までに修了見込みの者
- ② 外国において学校教育における 15 年の課程を修了、または 2024 年 3 月までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ③ 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学までに 22 歳に達する者

注 1 : 「外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における 16 年目の課程を修了した者」という意味です。16 年間教育を受けたかではなく、「16 年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

注 2 : 初等～高等教育までの正規の課程の年数が 16 年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。“学歴確認フォーム”を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、早稲田大学国際アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

- ・学歴確認フォーム ダウンロードサイト
<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/faq/>
- ・問い合わせ先
国際アドミッションズ・オフィス : iao-gs@list.waseda.jp

注 3 : 外国籍の方であっても、日本の大学（学部または大学院）を正規に卒業・修了（見込みを含む）した者は、「外国学生」には該当しません。

注 4 : 日本語能力試験 1 級/N 1 または日本留学試験「日本語」260 点以上のスコアを有していることが必要です（日本留学試験については、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された試験のスコアに限ります）。また、スコアを外国語科目の得点に調整して利用します。

注 5 : 英語教育専攻志願者は、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された

- ・ TOEFL iBT 「80 点以上」（MyBest®スコアも可）（TOEFL iBT Home Edition は原則不可）
- ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「6.5 点以上」（Computer-delivered IELTS も可）

のいずれかのスコアを有していること。

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続き時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

本大学（学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。）の教員は、本大学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規約上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所の事務所を通じて本部までお問い合わせください。

2. 募集専攻・人員

専攻	修士課程募集人員（注）
学校教育専攻	30名以内
国語教育専攻	21名以内
英語教育専攻	21名以内
社会科教育専攻	27名以内
数学教育専攻	18名以内

（注）上記募集人員の3分の1程度は、特別選考制度入試による入学者の枠とします。

3. 出願期間・出願方法・出願書類提出先

入試区分	提出先	出願期間・方法
一般入試	教育学研究科 事務所 (郵送に限る)	2023年7月27日(木)～8月8日(火) 出願はすべて 簡易書留速達郵便 による郵送 受付です。 出願期間最終日消印有効。
特別選考制度入試		
外国学生入試 (国内出願)		
外国学生入試 (国外出願)		2023年7月10日(月)～7月21日(金) 出願はすべて EMS 等による郵送受付となり、 出願期間最終日必着とします。

4. 出願上の注意

(全入試区分共通の注意事項)

- ・郵送する際、別ファイルの「志願票等送付用住所ラベル」に住所・氏名を記入し、封筒の宛名面に貼付のうえ送付してください。※外国学生入試の方は次ページ「外国学生入試対象者の注意事項」を参照してください。
- ・お住まいの地域や国によっては配達に時間を要するところがありますので、時間に余裕を持って送付するようにしてください。
- ・出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。
- ・出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。書類到着の確認は、郵便局の追跡サービス（国外出願の場合は **EMS** 等の追跡サービス等）を利用の上、確認を行ってください。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また当大学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ・出願後に志願票に書かれた住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに当研究科事務所に連絡をしてください。志願票に書かれた情報を変更したことが原因で当大学からの連絡が届かなかったとしても、当大学は一切の責任を負いません。
- ・身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所にお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。

(外国学生入試対象者の注意事項)

- ・外国学生の出願手続は、志願者の居住地によって「国内出願」と「国外出願」とに区分が分かります。以下の定義により自身の出願区分を確認してください。「国内出願」「国外出願」はそれぞれ出願期間・出願方法等が異なりますので、十分にご注意ください。

	国内出願	国外出願
対象	出願時に日本国内に居住する者	出願時に日本国外に居住する者
資格確認	志願票に記載された「現住所」から判断します	

- ・国内出願の方は、必ず所定の「志願票等送付用住所ラベル」を使用して送付してください。国外出願の方は、「志願票等送付用住所ラベル」の住所を国際宅配業者（EMS 等）のラベルに転記のうえ、送付してください。
- ・国内出願者で、出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格の更新・変更が許可されない場合があります（現在保持している在留資格の根拠となる活動を、正当な理由なく継続して3ヶ月以上行っていない場合など）。入学後の在留資格更新・変更の取得については、本学は一切保証できません。必ず出入国在留管理局に確認し、各自の責任において出願してください。
- ・一度提出した書類・資料の返還は原則として行いません。ただし、再発行が不可能な書類に限り書類の返還を行います。希望する場合は必ず「提出書類返還依頼書」を記入し、出願書類と一緒に送付してください。「提出書類返還依頼書」が出願書類と一緒に送付されていない場合は、書類の返還は一切行いません。

5. 志願者情報 Web 登録

(1) 入力

志願者は必ず Web 上にて志願者情報の登録を行ってください。登録用のフォームは出願期間中、本研究科 Web サイトの本入学試験要項掲載ページにリンクを掲載します。

<https://www.waseda.jp/fedu/gedu/applicants/admission/> (教育学研究科>受験生の方へ>入学試験情報)

(2) 入力上の注意

- ・原則として、志願者本人が入力してください。
- ・すべて入力後、最下段の「保存」を押してください。その後「申請確認：申請を保存してよろしいですか？」という画面が出ますので、「はい」を押すと登録確定となります（その後「保存しました」と表示されます）。
- ・フォームに入力した情報に誤りがあった場合などは、再度登録し直してください。
- ・登録が完了すると、「【MyWaseda】申請通知：教育学研究科修士課程入学試験志願者情報登録」という件名のメールが入力したアドレス宛に自動送信されます。このメールを印刷し、出願書類として同封してください。
- ・受信拒否を回避するため、携帯電話のキャリアメール以外（「Gmail」、「Yahoo!メール」等）を利用されることを推奨します。
- ・フォームでの登録後、自動送信メールが受信できない場合、以下の可能性が考えられます。

①迷惑メールとして分類されている

②入力したメールアドレスに誤りがある

迷惑メールからも見つからない場合は、誤った入力が行われた可能性がありますので、最初からフォームの再入力を行ってください。提出書類と突合して、正規の登録内容を判断します。

- ・登録されたメールアドレス宛に試験実施に関するご連絡等を行うことがありますので、出願から試験当日までの間、定期的に受信メールを確認できるようにしておいてください。

6. 入学検定料（入試区分ごとに、支払期間および支払方法が異なります）

入試区分	入学検定料支払い期間	入学検定料
一般入試	7月27日(木)～ 8月8日(火)	30,000円
特別選考制度入試		
外国学生入試（国内出願）		

日本国内からの検定料支払方法

- ① 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ② コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話等によりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>) にアクセスをして所定の申込手続きを完了させる必要があります。
- ③ 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『志願票No.2（様式-2）』の所定欄に貼り付けて提出してください。詳細は別紙「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を確認してください。
- ④ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23:00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23:30までとなりますので注意してください。

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当研究科まで連絡してください。

入試区分	入学検定料支払い期間	入学検定料
外国学生入試（国外出願）	7月3日(月)～7月21日(金)	30,000円

日本国外からの検定料支払方法

下記の要領に従い、金融機関より海外送金してください。その際、銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類に同封してください。

<海外送金要領>

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	入学検定料に円為替手数料を加えた金額 32,500円 (検定料+円為替手数料 2,500円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	三菱UFJ銀行 (MUFG Bank, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	0035967FHR ※口座番号欄には数字7文字とアルファベット3文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13 (1-48-13, Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 1120014, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "37GSE" を必ず記入してください。

出願書類および入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は2023年9月15日（金）までに教育学研究科事務所（gse-admission@list.waseda.jp）までメールにてご連絡ください。

- ① 入学検定料を所定額より多く支払った。
- ② 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- ③ 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- ④ 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります

被災地の志願者に対する減免制度

本学では、被災地（災害救助法適用地域）の志願者に対して、受験・入学の機会をできるかぎり保障するため、被災の状況により、入学検定料、登録料（入学金相当額）、学費・諸会費の減免制度を用意しております。

2023年4月1日（入学予定日の1年前）以降に災害救助法が適用された市区町村において被災された方で、減免を希望される方は、下記の入学センターWebサイトをご覧ください。

【URL】 <https://www.waseda.jp/inst/admission/others/exemption/>

7. 出願書類

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

出願書類 記入上の注意

- (1) ペンまたはボールペン（黒）で記入してください。（鉛筆・フリクションペン等は不可）
- (2) 誤って記入した場合は、二本線で消し、訂正印を押印したうえで再度記入（できるだけ枠内）すること。修正液は使用しないでください。

※Word 文書（Docx ファイル）として提供されている書類については、所定の様式に直接入力したものを印刷し、提出することも可とします。

ただし、様式の枠線配置などは一切変更しないでください。（「A4」片面1枚で作成してください。）

凡例 「○」 → 必須提出 「△」 → 該当者のみ提出 「×」 → 提出不要

様式名	提出書類	一般	特別	外国
修士 様式-①	入学試験 志願票 No.1 ・性別は男・女のいずれかを選択してください。本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍上の性別情報を収集しています。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。 https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/ ・年号は西暦で記入してください。	○	○	○

様式名	提出書類	一般	特別	外国
修士 様式-②	入学試験 志願票 No. 2 ・所定欄に氏名等を記入の上、様式-②に記載の注意事項に沿って、「入学検定料収納証明書」「写真」を糊付けしてください。 ・「写真」は入学時、同じ写真をデータで Web システム上にアップロードすることとなります。データ版も取得し、大切に保管しておいてください。	○	○	○
修士 様式-③ 1/2・2/2	数学教育専攻入学試験調査票【数学教育専攻志願者のみ提出】 ・文字数指定なし。ただし所定の様式内に収めること。(それぞれ「A4」片面1枚)	△	△	△
修士 様式-④	履歴書(特別選考制度入試用) ・年号は西暦で記入してください。	×	○	×
修士 様式-⑤	志望理由・研究計画書(一般入試、外国学生入試) 【数学教育専攻以外の志願者のみ提出】 ・文字数指定なし。ただし所定の様式内に収めること。	△	×	△
修士 様式-⑥	研究計画書(特別選考制度入試用) ・文字数指定なし。ただし所定の様式内に収めること。	×	○	×
修士 様式-⑦	受験承諾書 ・在職中の特別選考制度入試受験者は、受験にあたり、事前に所属長(学校長等)からの受験承諾を得て、所属長に本様式を記入してもらってください。 (※退職予定の場合も、現職にある場合は提出必須です。)	×	△	×
原本	学部の卒業証明書または卒業見込証明書 ・「卒業(見込)」と「成績」が同一用紙で証明されている証明書でも結構です。 ・必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。 ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。 ・出願時に卒業(修了)見込の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出し、合格後、入学手続を行う際に卒業(修了)証明書を必ず提出してください。入学試験に合格されても、入学手続までに卒業(修了)証明書を提出できない場合は、入学を認められませんので注意してください。 ・中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター(または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構)が発行する「学歴認証報告書(英語版)」を卒業証明書として提出することも認めます。CSSD(CHESICC)から教育学研究科事務所(gse-admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。CSSDから当研究科に直接メールで届く「Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」のみ有効とします。必ず出願期間締切日までに届くよう、余裕を持って準備してください。 ・中国の大学の卒業証明書には卒業番号の記載が必要です。記載がない場合は卒業証明書とは別に、卒業証書など(番号がわかるもの)のコピーを添えてください。	○	○	○
原本	学位取得証明書(見込証明書) ・中国の大学を卒業し、学位を取得した学生は学位取得証明書と卒業証明書の両方を提出してください(中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります)。 ・学位取得証明書については、『CDGDC(中国教育部学位与研究生教育发展中心)』が発行する「Credentials Report(英語版)」による提出も認めます。CDGDCから教育学研究科事務所(gse-admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。CDGDCから当研究科に直接メールで届く「Credentials Report(英語版)」のみ有効とします。 ・学位取得証明書には学位番号の記載が必要です。記載がない場合は学位取得証明書とは別に、学位証書など(番号がわかるもの)のコピーを添えてください。	×	×	△

様式名	提出書類	一般	特別	外国
原本	Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate <ul style="list-style-type: none"> 中国の教育機関を卒業された方は、CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する、英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」をCSSD(CHEISIC)から教育学研究科事務所 (gse-admission@list.waseda.jp) へメールで直送されるよう手配してください。 詳細についてはCSSD (CHEISIC)の Web サイトをご確認ください。 https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ 必ず出願期間締切日までに当研究科へ「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」が届くよう、余裕を持って準備してください。 CSSD(CHEISIC)から当研究科に直接メールで届く「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」のみ有効とします。 	×	×	△
原本	学部の成績証明書 ただし、学部にて在学中の場合は前学年までの成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> 「卒業（見込）」と「成績」が同一用紙で証明されている証明書でも結構です。 必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。 証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。 成績証明書は、大学学部以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。 編入している者は編入学前の学部の成績証明書も提出してください。 飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由などが成績証明書に記載されていない場合は、それを証明する大学作成の書類を別途提出してください。 (外国学生のみ) 休学・兵役等の期間があった場合は、その旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。 (中国の大学出身者のみ) 中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター（または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構）が発行する「成績認証報告書（英語版）」による提出も認めます。CSSD (CHEISIC) から教育学研究科事務所 (gse-admission@list.waseda.jp) へメールで直送されるよう手配してください。必ず出願期間締切日までに本学へ「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」が届くよう、余裕を持って準備してください。CSSD から当研究科に直接メールで届く「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のみ有効とします。 	○	○	○
原本	編入学前の学部の成績証明書 【編入学して学位を取得している場合のみ】	△	△	△
原本	改姓を証明できる公的証明書（戸籍抄本等） 【改姓により志願票と各種証明書の氏名が異なっている場合のみ】	△	△	△
原本	在職証明書または在職期間証明書 （資格と在職期間が明記されたもの） <ul style="list-style-type: none"> 在職期間が3年に満たない場合、他の勤務先の証明書類も提出すること。（連続していることが必要） 専任に準ずる職にある方は、職務内容がわかる書類も提出してください。（雇用契約書など） 	×	○	×

様式名	提出書類	一般	特別	外国
原本	<p>英語能力証明書【英語教育専攻志願者のみ提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Official Score Report (TOEFL) または ・ Test Report Form (IELTS) <p>出願締切日から遡って2年以内に実施された</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL iBT 「80点以上」 (MyBest®スコアも可) (TOEFL iBT Home Edition は原則不可) ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「6.5点以上」 (Computer-delivered IELTS も可) <p>のいずれかのスコアを有していることが必要です*。 * (特別選考制度入試のみ) ただし、英語を媒介とするプログラム (EMI) で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とする。</p> <p>上記各スコア票が試験実施団体から<u>出願締切日までに大学へ直接送付される</u>ように、志願者が早めに依頼すること。6週間程度かかることがあります。 ※Test Report Form (IELTS)の依頼時は、必ず簡易書留等の追跡できる形で送ってもらうよう、試験実施団体に依頼してください</p> <p>○TOEFL 団体ウェブサイト https://www.ets.org/ Official Score Report (TOEFL)の送付に必要なコード Institution Code : C394 ※(注意) <u>早稲田大学でも複数の送付先コードがあります。必ず、上記コードを入力してください。</u></p> <p>○IELTS 団体ウェブサイト https://www.ielts.org/ Test Report Form (IELTS)送付先は以下を記入してください</p> <p>〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学大学院教育学研究科事務所 入試係宛</p>	△	△	△
コピー	<p>英語能力スコア報告書【英語教育専攻志願者のみ提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL iBT ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic <p>いずれかのスコア報告</p> <p>暫定的なスコア証明として、前項の「英語能力証明書」に加えて、手許にあるスコア報告のコピーまたは Web 上のスコア確認画面を印刷したもののいずれかを提出すること。</p>	△	△	△
コピー	<p>日本語能力証明書</p> <p>以下の A または B のいずれかの方法で提出すること。</p> <p>A 日本語能力試験1級/N1の「合否結果通知書」もしくは「認定結果および成績に関する証明書」(「日本語能力認定書」は不可)のコピー 1部。 (試験実施年度は問いません)</p> <p>※<u>2023年度第1回の日本語能力試験を受験した者に限り、同試験の受験票のコピーを提出することで証明書を後日追加提出することを認めます。</u>なお、以下の期日までに提出できない場合は出願を受け付けません。 追加提出締切日：<u>2023年9月1日(金) 必着</u></p> <p>B 日本留学試験「日本語」260点以上の「成績確認書」(EJU オンラインから印刷)、および受験票のコピー 各1部。 (出願締切日から遡って2年以内に実施された試験のスコアに限ります)</p>	×	×	○
修士 様式-⑧	<p>提出書類返還依頼書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再発行が可能な書類の返還は一切行いません。(公証書、成績証明書、推薦状など) 	×	×	△

様式名	提出書類	一般	特別	外国
修士 様式⑨	推薦状【学校教育専攻志願者（外国学生）のみ提出】 ・所定様式のを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。推薦状は、2022年4月以降に発行されたもののみ有効になります。推薦状は 必ず厳封 されたものを提出してください。 厳封が無いものは原則無効 といたします。 ・また推薦状は日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。	×	×	△
修士 様式⑩	経費負担計画書 ・所定の用紙に、本学に留学する間の総費用（2年分の学費及び生活費）をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。 ※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 ・経費負担計画書の「政府またはその他財団（Government/sponsoring agency）」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。	×	×	○
コピー	「在留カード」のコピー（表・裏両面）、身分証明書（パスポート）のコピー ・「在留カード」は、表・裏両面のコピーを提出してください。これに加えて、身分証明書（パスポート）の写真が掲載されたページも提出してください（有効期限に注意をしてください）。日本で在留資格を有していない場合は、パスポートのコピーのみ提出してください。	×	×	○
コピー	入学検定料 海外送金申請書のコピー ・国外出願者で、海外送金により検定料を振り込んだ場合	×	×	△
原本	翻訳公証書	×	×	△

8. 受験票の送付

- ① 出願受付後、志願票 No.1 に記載された住所宛に受験票を送付します。
国外出願者については、出願後に受取方法を連絡します。
- ② 試験日間近になっても受験票が届かない場合は、当研究科事務所までお問い合わせください。
- ③ 受験票は、入学後、学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

9. 試験科目・試験方法

一般入試・外国学生入試

※外国学生入試受験者は「外国語」の筆記試験は免除されます。ただし、日本語能力試験・日本留学試験「日本語」のスコアを、外国語科目の得点に調整して利用します。

※英語教育専攻は「外国語」の筆記試験はありません。

【辞書・事典・資料類の持ち込みは全て不可とします】

専攻	第1次試験			第2次試験
	9月16日(土) 9:00~11:00 (集合 8:45)		9月16日(土) 11:40~12:40 (集合 11:25)	9月17日(日) 10:00~ (集合 9:45)
	専門科目		外国語	口述
	共通	選択		
学校教育専攻	教育学	◇教育学 ◇社会教育学 ◇教育心理学 ◇初等教育学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち、母語以外の1カ国語選択	主として専攻にかかわる分野についてのこれまでの研究課題、および研究計画について ※英語教育専攻については、状況により英語での口述もありうる。
国語教育専攻	現代および古典の文章の読解	◇国語科教育 ◇日本語学 ◇古典文学 ◇中国古典文学 ◇近代文学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち、母語以外の1カ国語選択	
英語教育専攻	英語教育英語	◇英語科教育 ◇英語学 ◇イギリス文学 ◇アメリカ文学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。	—	
社会科教育専攻	社会科教育	◇歴史学 ◇地理学 ◇政治学 ◇経済学 ◇社会学 ◇メディア・コミュニケーション学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。 なお、社会科教育の研究指導を受けようとする人は、上記の科目の中から任意の1問を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち、母語以外の1カ国語選択	
数学教育専攻	線型代数 微分積分	◇数学科教育 ◇代数学 ◇解析学 ◇幾何学 ◇情報数学 ◇トポロジー の中から、任意の2問を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち、母語以外の1カ国語選択	

【英語教育専攻を除く一般入試出願者：選択する外国語は、出願時に志願票No.1の受験外国語欄に記入してください】

特別選考制度入試

【辞書・事典・資料類の持ち込みは全て不可とします】

専攻	第1次試験		第2次試験	
	9月16日(土) 9:00~10:30 (集合8:45)		9月17日(日) 10:00~ (集合9:45)	
学校教育専攻	小論文		主として専攻にかかわる分野についてのこれまでの研究課題および研究計画について口述試験を行います。 ※英語教育専攻については、状況により英語での口述もありうる。	
国語教育専攻				
英語教育専攻				
社会科教育専攻				
数学教育専攻				

10. 試験期日および合格者発表日

入試区分	第1次試験		第2次試験	
	試験日	発表日	試験日	発表日
一般入試	9月16日(土)	9月16日(土) 【注1】	9月17日(日)	9月20日(水)
外国学生入試				
特別選考制度入試	9月16日(土)	— 【注2】		

【注1】「一般入試・外国学生入試」の第2次試験は、第1次試験合格者のみ受験することができます。

【注2】「特別選考制度入試」は第1次試験合格者発表を行いません。

第1次試験受験者は必ず第2次試験も受験してください。

11. 試験会場

入試区分	試験会場
一般入試	早稲田キャンパス 16号館等 (予定) 第1次試験・第2次試験ともに、試験教室は当日16号館2階掲示板にて掲出します。
特別選考制度入試	
外国学生入試	

12. 合格者発表場所および時間

入試区分	発表場所・時間	
	第1次試験	第2次試験
一般入試	<ul style="list-style-type: none"> 当研究科事務所掲示板(16号館2階)に19:00発表※ 同時刻に当研究科ウェブサイト上に発表 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/ 	<ul style="list-style-type: none"> 合格者発表日の10:00に教育学研究科ウェブサイトにも合格者受験番号表を掲載します。 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/ ※最終合格者には合格証明書および入学手続きに係る書類を郵送します。なお、不合格者には書類は何も送付されません。
外国学生入試		
特別選考制度入試	—	※合否に関する問い合わせには応じません。

※夏季休業期間のため、18:00に閉門します。受験後は構内に残らず退構してください。18:30以降、通用門で受験票を提示の上、再入構し、掲示を確認してください。また、掲示確認後は速やかに退構してください。

13. 受験上の注意事項等について

(1) 受験上の注意

- ① 受験生は各科目の試験開始 15 分前には試験場に入場してください。
- ② 試験場には受験票・筆記具を持参し、受験票は机の上に置いてください。
- ③ 筆記具は黒（HB）の鉛筆またはシャープペンシルとします。
- ④ 第1次試験日の第1時限目試験開始後 20 分を経過してからの入場は一切認めません。
- ⑤ 第2次試験日の試験開始後 20 分を経過してからの入場は一切認めません。
- ⑥ 試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。
- ⑦ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合、他の受験生や監督員等への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ⑧ ⑦に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ⑨ ⑦⑧により欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。
- ⑩ 受験に際しては1週間程度前から検温を行うなど、体調管理を徹底してください。
- ⑪ 入学試験会場での新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等への感染を防ぐため、必要に応じて各自の判断でマスクを用意、着用してください。なお、写真照合の際など、一時的にマスクを外すことを求めることがあります。
- ⑫ 来場後、体調が優れない場合や異変を感じる場合は、早めに申し出てください。
- ⑬ 試験当日は救護所に医師が待機しています。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員にすみやかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等に時間がかかった場合でも試験時間の延長は認めません。
- ⑭ 追加の情報がある場合は、研究科 Web サイト (<https://www.waseda.jp/fedu/gedu/>) にてお知らせします。

試験時間中に使用を認めない物品の一例を以下に示します。

物品	備考
携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット、腕時計型端末等の通信機能のある機器	時計としての使用も認めません。必ず電源を切って、かばんにしまってください。
電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・ICレコーダー等の電子機器	必ず電源を切って、かばんにしまってください。
耳栓	試験監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます
鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具（ボールペン、蛍光ペン、赤ペン等）、筆箱、辞書	
帽子等	フードの着用も認めません。

(2) 不正行為について

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となることがあります。

- ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ、使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
- ② 筆記試験において、試験中に使用を認められていない物品を使用すること（机上に置くこと、身に着けることを含む）。
- ③ 筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
- ④ 筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑤ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
- ⑥ 試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
- ⑦ 試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- ⑧ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑨ 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
- ⑩ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑪ 解答用紙を持ち帰ること。
- ⑫ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。

- ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
- ・別室または別席での受験を求めること。
- ・本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき退学を含む懲戒処分の対象となることがあります。

(3) 受験環境について

◆ 可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（航空機・自動車・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、鳴動を停止させ、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し、鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④ 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室あるいは別席での受験を求めることがあります。

◆ 不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

Ⅲ. 入学手続

1. 手続書類の交付

入試区分	書類交付方法
一般入試	2024年2月上旬に、志願票 No.1 に記載された現住所へ発送します。
特別選考制度入試	
外国学生入試（国内出願）	
外国学生入試（国外出願）	2023年11月上旬に、志願票 No.1 に記載された現住所へ発送します。

2. 入学手続期間・方法

所定の期間内に、①入学手続情報の Web 入力<「UCARO」>、②入学手続料（入学金・学費・諸会費）の納入<銀行振込>、③入学手続書類提出<郵送>、の3点を完了することにより、入学手続が完了します。詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。

入試区分	入学手続締切日
一般入試	<u>2024年2月20日(火) (消印有効)</u>
特別選考制度入試	
外国学生入試（国内出願）	
外国学生入試（国外出願）	<u>第一次:2023年12月1日(金) (必着)</u> <u>第二次:2024年2月28日(水) (必着)</u>

3. 入学手続に必要な書類【ご参考】

- ① 入学手続用紙・入学誓約書（本学所定用紙）
- ② 「住民票の写し」
- ③ 出身大学の卒業証明書および成績証明書 （出願手続の際、既卒の証明書・卒業年度までの成績証明書を提出している場合は再度提出する必要はありません。）
- ④ 学費等振込領収証のコピー
- ⑤ 在留資格認定証明書申請書類 （外国籍の方のうち、国外出願者のみ） **下記（※）も参照のこと**

その他必要とする書類は入学手続書類送付時お知らせします。

（※）在留資格認定証明書申請について

本学へ入学を許可された外国籍学生は、在留資格「留学」を取得することができます。日本に入学するためには在留資格を申請するには、まず日本国内の法務省出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続を完了した国外出願の外国籍学生に限り、本人に代わって出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。代理申請後、「在留資格認定証明書」が出入国在留管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学から申請者に郵送いたします。

「在留資格認定証明書」を受け取った後は、パスポートとともに日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。「在留資格認定証明書」の交付には1～2ヶ月の時間を要しますので、入学手続時に、必要書類を教育学研究科まで送付してください。必要書類は合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

4. 入学手続に必要な入学金・学費・諸会費【ご参考】

2024年度 入学金・学費・諸会費

(単位：円)

専攻	納入期	入学金	学費		諸会費		合計	年度納入額
			授業料	演習料	学生健康増進互助会費	教育会費		
学校教育専攻 国語教育専攻 英語教育専攻 社会科教育専攻	入学時 (春学期)	300,000	312,000	1,500	1,500	250	615,250	930,500
	秋学期	—	312,000	1,500	1,500	250	315,250	
数学教育専攻	入学時 (春学期)	300,000	481,000	1,500	1,500	250	784,250	1,268,500
	秋学期	—	481,000	1,500	1,500	250	484,250	

(注意) 1. 本学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度本学に入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

2. 第2年度の授業料・演習料・学生健康増進互助会費・教育会費は次のとおりです。

専攻	学期	学費		諸会費		合計	年度納入額
		授業料	演習料	学生健康増進互助会費	教育会費		
数学教育専攻 以外の専攻	春学期	412,000	1,500	1,500	250	415,250	830,500
	秋学期	412,000	1,500	1,500	250	415,250	
数学教育専攻	春学期	581,000	1,500	1,500	250	584,250	1,168,500
	秋学期	581,000	1,500	1,500	250	584,250	

3. 実験実習を伴う下記科目を受講する場合は実験実習料を別途納めなければなりません。(予定)

学校教育専攻 初等教育学演習(河村)、特別支援教育学演習、臨床心理学演習、教育評価・測定演習、障害・神経心理学演習、学校心理学演習、発達・教育心理学演習 15,000円

公認心理師心理実践実習1 7,500円、公認心理師心理実践実習2 12,500円

社会科教育専攻 社会科教育研究指導(池)、地理学研究指導(久保、箸本、山内)10,000円

共通選択科目 教育工学及び実習 2,000円

4. 演習料、実験実習料、諸会費は改定されることがあります。

5. 標準修業年限最終学年の最終学期に、校友会費(40,000円)が加算されます。ただし、本学卒業生(校友)で校友会費(40,000円)を納入済の方は除きます。

一度提出した書類および納入した入学金、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。

ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費・諸会費(春学期分)を入学希望研究科に振り替えることができません(入学手続期間が全く重ならない研究科間に限られます)。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

5. 外国学生（外国籍）の方へ

*新型コロナウイルスの影響で手続き方法が変更になる可能性があります。その場合はWebサイトや大学からのメールでご案内します。【Webサイト：<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>】

在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。**「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上述のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。**

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。以下の(1)～(6)をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書代理申請など必要な在留手続きを行ってください。**在留手続きを行うには入学手続きの「振込」を完了している必要があります。**手続きに「入学許可書」が必要な場合は、「振込」を完了した後、教育学研究科事務所に発行を依頼してください。

(1) 「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の3か月前から手続きできます。手続きに関する詳細は、上記のWebサイト内、「入学前の方へ」を参照してください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「(4) 在留資格を有していない場合」を参照してください。

(3) 「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続きの必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続きに関する詳細は、上記のウェブサイト内、「入学前の方へ」を参照してください。

【注】在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学が発行する書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

(4) 在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。早稲田大学では**入学手続きを完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。**必要書類を2023年12月1日(金)まで(必着)**に、書留便(国際スピード郵便等)で早稲田大学留学センターへ送付してください。代理申請後、COEが出入国在留管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学留学センターから申請者に入学許可書とともに郵送いたします。COEを受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COEの有効期間は3か月ですので、有効期間内にビザを取得し、渡日してください。COE代理申請書類の受取りから出入国在留管理局への代理申請、審査、COEの交付まで2～3か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

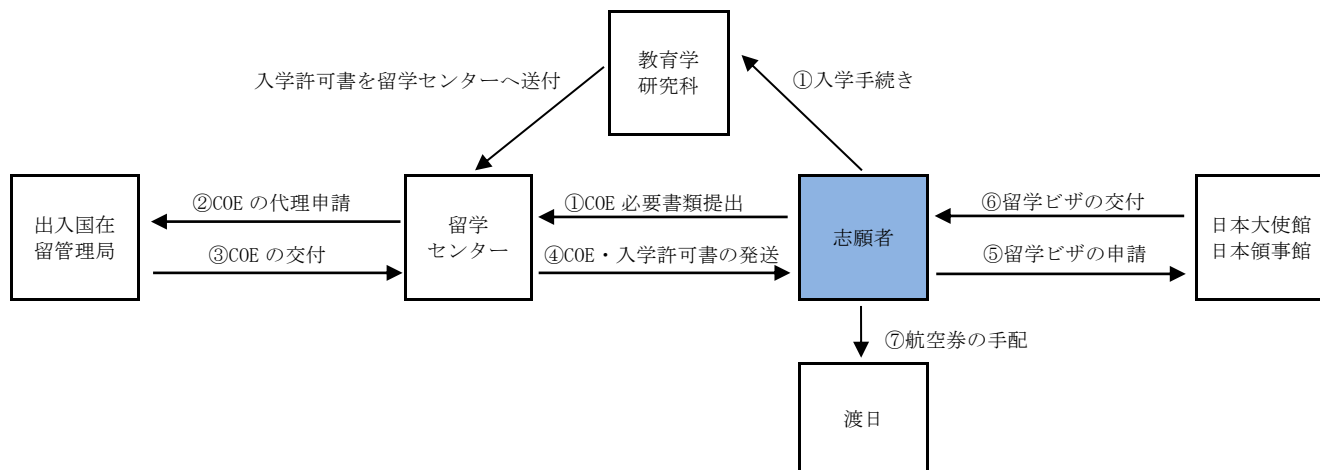
【注】・代理申請は、入学手続の「振込」を完了しないと行いません。希望者は、すみやかに手続を済ませ、早急に代理申請手続を行ってください。

・代理申請に必要な書類および送付先はP21の「在留資格認定証明書代理申請依頼書」をご確認ください。

【留学ビザ取得までの流れ（①→⑦）】

※留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。

留学センターにCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館、日本領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



(5) 在留資格の取得、変更 〈査証免除／短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合）で入国した場合、原則として、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）で、新学期前に帰国が難しい場合は、COEが発行されたら、出入国在留管理局で資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の取得が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

(6) その他注意事項

- ・早稲田大学留学センターが代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、至急COEを留学センターへ返送してください。また、他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター（E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp）へ問い合わせてください。

〈在留資格認定証明書代理申請依頼書〉

◎以下の書類をすべて同封のうえ、書留便(国際スピード郵便等)を利用して早稲田大学留学センターへ送付してください。

【在留資格認定証明書】の申請に必要な書類 * 同封した書類に☑チェックをしてください。

- ①在留資格認定証明書交付申請書(申請人作成用 3 枚、3 か月以内に撮影した顔写真 1 枚添付)

http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/pdf/COE_202212.pdf

※必ず、申請書記載例を確認してください。

http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/pdf/COEsample_jp_202212.pdf

- ②パスポートのコピー(顔写真のページ)
- ③経費支弁書(本人以外が経費を負担する場合のみ必要。)

※所定用紙は以下よりダウンロードしてください。

<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/pdf/5keihisibensho.pdf>

- ④経費支弁に関する書類(原本)

1	本人が経費を負担する場合	預金残高証明書※ ¹ (本人口座)
2	奨学金を受給する場合	奨学金受給証明書
3	本人以外が経費を負担する場合	預金残高証明書※ ¹ (経費負担者口座)および経費支弁書

※1 残高証明書の注意点

- ・口座名義人名、銀行名、日付、預金残高が確認できるもの。
- ・1年分の生活費として96万円以上の残高が必要。
- ・日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること(翻訳公証は必要ありません)。
- ・日本円以外の預金残高証明書の場合は、留学センターで書類確認時のレートで換算します。

- ⑤ 在留資格認定証明書代理申請依頼書(本書面)
- ⑥ 早稲田大学入学時に最終学校を卒業後5年以上経過している場合は、以下の2点も提出してください。
1. 履歴書(書式自由。A4用紙に作成のこと。経歴と勉強理由を記載すること。)
 2. 今後の進路を説明する資料(書式自由。A4用紙に作成のこと。早稲田大学卒業後の進路について記載すること。)

申請書類送付締切日

2023/12/1 (金)【郵送必着】

※「在留資格認定証明書」の審査には2~3か月の時間を要しますので、締切日にかかわらず、入学金・学費振込を速やかに完了し、早めに申請することを推奨します。

宛先

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14-4F
 早稲田大学留学センター 「在留資格代理申請」係
 電話:03-3207-1454

問い合わせ先

E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp

氏名 (英字表記)	
在留資格認定証明書の受取人および受取人の住所(日本国外)(英字表記) *変更があった場合はただちに連絡すること	受取人名:
	住所(日本国外):
	都市名:
	州/省名:
	国名:
	郵便番号:
Eメールアドレス	
入学予定研究科	大学院教育学研究科
受験番号	

6. 特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度

以下の1. に掲げる条件に合致する出願者は、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。

1. 適用条件

文末に記載の対象国に居住し、かつ対象国の国籍を有する者。

*居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

*重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当している必要があります。

2. 免除申請手続

出願書類として提出を求めている入学検定料支払証明書の代わりに以下の書類を提出してください。

- 1) 検定料免除措置申請書（所定様式：当研究科 Web サイトからダウンロード）
- 2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

3. 注意

- 1) 出願期間終了後の申請はいかなる理由でも受け付けません。
- 2) 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。誤って支払ってしまった場合、入学検定料の返還は行いませんのでご注意ください。
- 3) 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

[対象国*]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、シリア・アラブ共和国、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

*OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Low Income Countries which are not LDCs」の認定国

7. 提携金融機関（オリコ・楽天銀行）による「早稲田大学学費ローン（入学時）」

提携金融機関（オリコ・楽天銀行）による 「早稲田大学学費ローン（入学時）」

本学には、(株)オリエントコーポレーション（以下オリコ）、楽天銀行(株)と提携した「早稲田大学学費ローン制度」があり、入学時納入金に利用することができます。

本学費ローン利用にあたっては、自己責任のもと、申込期日や手続期日等の日程に注意し手続きをしてください。なお、審査結果により、利用できない場合があります。

■学費ローン（入学時）の概要

対象者	本学入学予定者の保護者、および入学予定者本人（満 20 歳以上） ※外国人留学生は利用できません。 ※審査結果により、利用できない場合があります。
対象費用	入学時の大学宛納入金額（登録料（入学金相当額）および学費等（春学期分））
分割払手数料率 （実質年率）	提携金融機関により異なります。
入金方法	利用金額は金融機関から本学へ直接入金されます。※利用者への入金はございません。

■利用手順

早稲田大学奨学課のホームページ (<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>) に、**学費ローンのインターネット申込用ページを公開**しています。申込期日・申込方法・手続等の詳細はこちらをご覧ください。

■返済方法

本学費ローン利用の翌月より、指定口座から自動振替されます。返済方式は提携金融機関によって異なります。

■問い合わせ先

株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク

（営業時間 9：30～17：30 土日・祝日を除く）

〒102-8503 東京都千代田区麹町 5 丁目 2 番地 1 Tel. 0120-517-325 Fax. 052-231-3911

楽天銀行株式会社 教育ローン専用ダイヤル

（受付時間 平日 9：00～20：30 土日・祝日 10:00～17:30）

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-15 NBF 品川タワー Tel. 0120-61-6910

※必要書類の送付は原則スマートフォンアプリでの提出となります。郵送も可。

IV. 募集研究指導一覧・研究指導の内容

1. 募集研究指導一覧

※募集する研究指導は変更になる場合があります。出願の際は必ず最新の要項で研究指導をご確認ください。
変更した場合は、Web サイト各入学試験要項の変更履歴にも掲載します。

※★印の研究指導は、2026年4月1日以降は退職に伴い廃止となります。

[学校教育専攻]

教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	藤井 千春
教育史研究指導	教授	博士(教育学) 北海道大	三上 敦史
教育哲学研究指導	教授	博士(教育学) 慶應大	坂倉 裕治
教育内容・方法研究指導	教授	博士(教育学) 筑波大	根津 朋実
学校経営学研究指導	教授		菊地 栄治
教育工学研究指導	教授		三尾 忠男
初等教育学研究指導	教授	博士(心理学) 筑波大	河村 茂雄
初等教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	佐藤 隆之
初等教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京学芸大	大泉 義一
初等教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京学芸大	佐藤 寛之
発達・教育心理学研究指導	教授	博士(教育学) 東京学芸大	上淵 寿
臨床心理学研究指導	教授	博士(医学) 筑波大	堀 正士
教育評価・測定研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	椎名 乾平
障害・神経心理学研究指導	教授	博士(医学) 浜松医科大	坂爪 一幸
学校心理学研究指導	教授	Ed. D. (コロンビア大)	本田 恵子
特別支援教育学研究指導★	教授	博士(教育学) 筑波大	梅永 雄二
社会心理学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	安達 智子
教育社会学研究指導	教授	博士(教育学) 東京大	吉田 文
社会教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	小林(新保) 敦子
社会教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	坂内 夏子
社会教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	矢口 徹也
生涯教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京大	濱中 淳子

[国語教育専攻]

国語科教育研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	幸田 国広
国語科教育研究指導	准教授	博士(教育学) 早稲田大	菊野 雅之
日本語学研究指導	教授		松木 正恵
国文学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	松本 直樹
国文学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	新美 哲彦
国文学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	福家 俊幸
国文学研究指導	教授	博士(人文科学)お茶の水女子大	田淵 旬美子
国文学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	内山 精也
国文学研究指導★	教授		石原 千秋
国文学研究指導	教授		金井 景子
国文学研究指導	教授	博士(文学) 慶應大	五味淵 典嗣
国文学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	和田 敦彦

[英語教育専攻]

英語科教育研究指導	教授	Ph. D. (ターラム大)	折井 麻美子
英語科教育研究指導	教授	Ph. D. (カリフォルニア大)	澤木 泰代
英語科教育研究指導	教授	Ph. D. (カリフォルニア大)	原田 哲男
英語科教育研究指導	教授	博士(学校教育学) 兵庫教育大	オオガ-ポールドウイン ウィリアム
英語科教育研究指導	教授	Ph. D. (カリフォルニア大)	佐々木 みゆき
英語科教育研究指導	准教授	博士(外国語教育学) 関西大	マキュワン 麻哉
英語科教育研究指導	准教授	Ph. D. (ペンシルベニア州立大)	木村 大輔
英語学研究指導	教授	Ph. D. (ハーバート大)	久野 正和
英語学研究指導	教授	博士(文学) デュースブルク-エッセン大	バックハウス ペート
英語学研究指導	教授	博士(文学) 上智大	新川 清治
イギリス文学研究指導	教授	博士(文学) 九州大	虹林 慶
アメリカ文学研究指導	教授	Ph. D. (ウイスコンシン大マディソン校)	佐久間 由梨
アメリカ文学研究指導	教授	Ph. D. (ニューヨーク州立大バッファロー校)	和氣 一成

[社会科教育専攻]

社会科教育研究指導	教授	博士(学術) 早稲田大	池 俊介
社会科教育研究指導	教授	博士(教育学) 東京大	近藤 孝弘
歴史学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	高木 徳郎
歴史学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	大橋 幸泰
歴史学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	石濱 裕美子
歴史学研究指導	教授	博士(文学) 東京大	小松 香織
歴史学研究指導	教授	博士(歴史学) ナンシー大	堀越 宏一
歴史学研究指導	教授		小森 宏美
地理学研究指導	教授	博士(理学) 東京都立大	久保 純子
地理学研究指導	教授	博士(学術) 東京大	箸本 健二
地理学研究指導	教授	博士(学術) 東京大	山内 昌和
政治学研究指導	教授		遠藤 美奈
経済学研究指導	教授		熊谷 善彰
社会学研究指導	教授	博士(社会学) 東京大	若林 幹夫
社会学研究指導	教授	博士(社会情報学) 東京大	野上 元

[数学教育専攻]

数学科教育研究指導 (教科内容・方法)	教授	Doctorat グルノーブル第一大	宮川 健
数学科教育研究指導 (教育情報・評価)	教授	博士(学術) 早稲田大	高木 悟
解析学・応用解析学研究指導	教授	理学博士(早稲田大)	新井 仁之
解析学研究指導	教授	博士(数理科学) 東京大	梁 松
解析学研究指導	教授	博士(数理科学) 東京大	戸松 玲治
代数学研究指導	教授	博士(理学) 大阪大	村井 聡
幾何学研究指導	教授	博士(理学) 京都大	小森 洋平
情報数学研究指導	教授	博士(情報学) 京都大	高島 克幸
トポロジー研究指導	教授	博士(理学) 早稲田大	谷山 公規
トポロジー研究指導	准教授	博士(数理科学) 東京大	山口 祥司

2. 研究指導の内容

[学校教育専攻]

教育学研究指導

藤井千春

J. デューイをはじめアメリカのプラグマティズムの哲学思想を中心に学びます。自らの学んだ哲学思想に基づいて、学校教育の在り方や生活科・社会科・総合的な学習／探究の時間などにおける協働的・探究的な学習法などに関する各自の知見を構築することを目指します。大学の教職担当教員や小中高等学校の教員となるための専門的・実践的な理論と方法を修得することが期待されます。

教育史研究指導

三上敦史

教育史は一次史料を大切にしつつも、周辺の史料群に目を配り、制度・政策・実態のありようや変遷を解き明かす学問である。すなわち目標とするのは教育・人間に関する問題を歴史的な文脈で説明する「作法」の習得なのであって、研究テーマや時代に制限はない。各自が選び取った研究テーマについて、どのような史料を用いて説明するのか、そのためにはどこで何をどう探索するのか、いかなる手法で分析・説明するのかといった具体的な研究活動の基礎を指導する。議論の幅が広がるので、他系統の学部出身者も歓迎する。

教育哲学研究指導

坂倉裕治

教育哲学は危機管理の学である。教育諸学を深めようとする学生、教職をめざす学生の双方にとって、予想外の困難を解決するためにとるべき思考の手順についての認識を磨くことが重要である。研究職をめざす学生には、文献研究において最低限守らなければならない作法・手続きを習得するための支援、文献研究に必須の外国語の運用能力向上のための支援を柱として指導する。留学や海外の研究機関と連携した研究活動についても支援する。

学校経営学研究指導

菊地栄治

学校経営学の研究指導においては、学校をめぐる諸課題の現状と構造を理論的・実証的に考究し、「場としての学校」や当事者をエンパワーするための理論構築を試みる。参加院生とともに、これまでの学校経営研究の成果をふまえて、臨床性、関係論、ケアリング、当事者主義、公共圏、同僚性などを鍵概念としながら学校経営研究の「ニューフロンティア」を創生していきたい。

教育内容・方法研究指導

根津朋実

カリキュラム研究は学際的であり、多様な研究対象や研究方法を含む。研究指導では、前提にあたる学習指導要領や教育課程、および関連事項について、学士段階で求められる基本的な知識の習得状況を確認する。続けて、各受講生が有する学士段階の知識や経験、および今日的な話題への興味や関心等を確認する。以上の作業を通じ、各受講生とカリキュラム研究との共通点や接点を探り、研究テーマを深めていきたい。

教育工学研究指導

三尾忠男

教育工学は、教育過程をシステムとして捉え、諸課題を分析し、工学的なアプローチで目標達成や問題解決を目指す分野である。この研究指導では、参加学生の教育や学習に関するテーマについてそれぞれの教育システムの要素を分析し問題点を明確化し、最適なシステムを追求する研究方法を指導する。現在、教師教育のあり方と教育におけるICT活用とプログラミング教育、高等教育におけるFDの実践について関心をもっている。

初等教育学研究指導

河村茂雄

担当者の研究テーマは、人間の教育・発達を促進する人間関係、集団体験のあり方をカウンセリング心理学の立場から明らかにしていくことである。したがって、研究テーマは、児童期・初等教育学を直接対象とするものだけではなく、教育・発達に関する全領域をその対象とするが、実証的研究であることが条件である。そして、各自のテーマに応じたデータの収集・分析、論文作成の指導を行う。関連する機関での臨床活動も奨励したい。

初等教育学研究指導

佐藤隆之

初等教育、その前後の就学前教育や中等教育、公教育などの理念・思想・歴史に関わる研究指導を行う。それぞれの研究や関心を考慮しながら、古典、原典、研究書、研究論文を取り上げて講読し、主に教育思想研究や教育史研究の手法について習得する。それをふまえて、研究テーマや問題の設定、史資料の検索・収集と読解、論文の構想、研究計画の立案などについて助言し、修士論文の作成を支援する。担当者はこれまで、新教育とその系譜に立つ思想やそれに基づく実践史について研究してきた。新教育は、「子ども中心」をスローガンとして、教育、学校、子ども、教える、学ぶ、経験、思考といった概念を捉え直し、新奇で独自性の高い多様な改革を実践に移すことで、学校制度や組織、教授法、カリキュラムなどに影響を与え続けている。「進歩主義（新教育）」、「子ども中心」、「経験主義」などに関する多様な主張や解釈について学びながら、現在求められている、個に応じた教育の理念と方法、能動的・主体的な学びの原理、プロジェクト型教育の理論と実践などについて理解を深めたい。

初等教育学研究指導

大 泉 義 一

芸術教育、とりわけ視覚芸術・デザインに関する教育のあり方について、理論的・実践的に研究指導を行う。我国の図画工作・美術科の教育実践を成立させている諸要件について、歴史的、社会的、文化的、実践的な諸側面から確認するとともに、今後の芸術教育のあり方について、デザインシンキングやスペキュラティブ・デザイン等の理論から検討する。またワークショップ論に基づき、学校外での芸術体験の意義について、ワークショップの企画・開発・実践を通して実証的に探究してゆく。

初等教育学研究指導

佐 藤 寛 之

理科教育における教授・学習論について研究指導を行います。自然事象を理解しようとするとき、学校での理科教育（科学教育）を通して学習者が獲得する科学的理解と、同じ学習者が日常生活の中で獲得する常識的理解は、必ずしも同じとは限りません。そのため、学習内容の理解を促すためには、常識的理解と科学的理解との相互作用を如何に展開すべきかについて検討する必要があります。本研究指導では、学習者の科学概念構築過程等について認識論的観点をふまえて、理論的・実証的に探究していきます。

発達・教育心理学研究指導

上 淵 寿

発達心理学（特に感情、アタッチメント、自己）と教育心理学（特に学習動機づけおよび学習プロセス）に関する研究指導を行います。受講者が修士論文を作成するために必要なアイデアの発表などや討論なども行うことがあります。

さらに、ミニ修論を節目節目で提出してもらいます。これは、研究や論文執筆を指導教員がきちんと評価するためであり、また受講者が時期を経るごとに、修論をより良いものに発展させていくためです。

臨床心理学研究指導

堀 正 士

この研究指導では臨床心理学、臨床精神医学に関したテーマを幅広く扱っている。指導教員は思春期・青年期のこころの問題と教育、アスリートにおける精神的問題、産業保健における精神的問題などに造詣が深い。このようなテーマに沿って修士論文のための研究を行う学生のための研究指導である。

教育評価・測定研究指導

椎 名 乾 平

心理学の立場から、評価・測定問題について考える。具体的には

- 1) 狭義の測定論（心理学的尺度、テスト理論、統計的データ解析、統計学史）、
- 2) 基本的仮定（正規分布、相関係数等）の検討、
- 3) 認知心理学的心理モデルとその実験的検証であるが、

データ解析指向というよりもデータが生成される心理プロセスの解明に重点を置く。また

- 4) 評価の社会的側面（偏差値問題、学力・選抜問題、進路指導、カリキュラムの評価等々）についての実証的研究もスコープにはいるであろう。

障害・神経心理学研究指導

坂 爪 一 幸

人間の示す「障害」を通じて、人間存在の本質と人間形成の問題を考える。小児・成人・高齢期の発達性・獲得性の「障害」（発達障害・高次脳機能障害・認知症など）から心と脳の関係や心の構造を理解し、治療・教育の理論的・実践的な問題を考える。主に（1）「障害」の理解と治療・教育、（2）「障害」児・者の心理・価値的問題、（3）「障害」児・者と社会、（4）脳・神経科学（神経心理学・高次脳機能障害学）と教育、などの諸領域を研究指導する。

学校心理学研究指導

本 田 恵 子

学校をひとつの有機体と捉え、教職員、児童・生徒、保護者、地域コミュニティの機能を活性化することを目的とした実践的な研究を行う。反社会的行動（いじめ・暴力・非行）、非社会的行動（不登校・ひきこもり）、および軽度発達障害児に対する理論的理解を元に、啓発教育、危機介入、個別対応に対する心理教育的アセスメント力および個別指導計画の立案実施ができる実践的な研究指導を行う。

特別支援教育学研究指導

梅 永 雄 二

自閉スペクトラム症を中心とする発達障害児者の社会参加・職業的自立について臨床活動および研究を行っている。

自閉スペクトラム症については、米国ノースカロライナ大学で実施されている TEACCH(Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped CHildren)プログラムをベースにアセスメント、学校コンサルテーション、職業リハビリテーション支援などを行っている。基本は幼児期から成人期に至るトータルサポートにおける臨床心理学的アプローチに重点を置いている。

社会心理学研究指導

安 達 智 子

社会心理学（例えば、自己効力、ステレオタイプなど）、産業心理学領域（例えば、キャリア、男女共同参画、ワーク・ファミリーインターフェイスなど）における研究テーマについて、心理学的手法にもとづいた量的研究を実践する学生を対象として修士論文の作成にむけた指導を行う。

教育社会学研究指導

吉田 文

教育を社会に位置づける政策や制度、学校に代表される教育を行う場、教育に関わる多様な人、これらが社会のなかでどのようなメカニズムのもとにあるかを考察するのが、教育社会学である。教育に対し社会的にアプローチするためには、考え方の枠組み（各種の理論）と分析の道具（量的・質的な調査方法）が必要である。この2つを確実に習得することを研究指導の主眼とする。これは、各人の研究関心を自分で深めていけるようになることを目的としたときの、基礎固めの位置づけをもつ。

社会教育学研究指導

小林(新保) 敦子

本研究指導は、各自のテーマに即した修士論文作成のための基礎作業を行うことを目的とする。その方法論としては徹底した実証的アプローチにこだわり、社会調査法、とりわけ質的調査法について学んでいく。

また今日の社会教育や家庭教育が抱えている諸課題に、理論と実践の両面から迫り、合わせて諸外国、特にアジア各国の教育や社会の現実を比較検討しながら考察を深め、研究の深化を図りたい。

社会教育学研究指導

坂内 夏子

本研究指導は、生涯にわたる人間形成と教育のあり方、生涯学習支援に関する研究手法を学ぶことを目的とする。すなわち①社会教育・生涯学習・ESDの理解、②生涯発達とエイジングが主軸になる。各自のテーマに即した具体的な研究方法論の修得を図りながら修士論文の作成の一助となるよう努める。

社会教育学研究指導

矢口 徹也

成人、女性、青少年の学習の意義について研究する。ユネスコでの生涯教育論提唱から半世紀を経て、日本では生涯学習社会、リカレント教育の具体化が迫られている。成人、女性、青少年教育の内容、方法について歴史的、理論的な検討を進めていきたい。

生涯教育学研究指導

濱中 淳子

大学や短期大学、専門学校といった高等教育について検討を加えようとしたとき、初等・中等教育とは異なる視点を持つ必要がある。本研究指導では、高校卒業後に経験する学びに関する諸課題を中心に扱うが、第一に高等教育研究の特徴がどのようなものなのか、深く理解することを目指す。そのうえで、各々が設定したテーマを追究することを通じて、高等教育を社会科学的に議論する方法の習得を図ることにしたい。

【国語教育専攻】

国語科教育研究指導

幸田 国広

院生各自の問題意識から、研究テーマの発見に結びつけるために、国語教育の研究領域・研究方法・先行研究事例等を紹介し、実際に演習を通して研究に必要な基礎的事項を習得していくことを目指す。

夏休みを挟んで、修士論文のテーマと研究計画を策定する。

国語科教育研究指導

菊野 雅之

本指導では、国語科教育学研究のために必要な研究力の基礎を形成する指導を行います。国語科教育に関する基礎資料読解や研究文献の精査・批評、学生のテーマ報告、授業実践報告などのワークショップ活動を通じて、修士論文執筆のために必要な研究力の形成を図るとともに、授業構想力や教材研究力の伸長も目指します。

日本語学研究指導

松木 正恵

日本語学（国語学）の各領域・分野についての研究指導を行う。日本語史の研究・現代日本語の研究のいずれにおいても、具体的な研究方法を学び、先行研究の適切な把握とその批判に基づいて自らの研究を進めていくことが基本である。また、実際に言語資料を収集・整理・分析し、さらにそれを修士論文にまとめ上げるための技術も必要となる。それらを通して、国語教育・日本語教育の現場等で直面する様々な問題に対処できる力を養うことも目標である。

国文学研究指導

松本 直樹

『古事記』『日本書紀』『万葉集』や各国「風土記」などの作品に代表される上代文学および関連する古典教育分野の修士論文作成にむけた研究指導を行う。

国文学研究指導

新美 哲彦

平安時代における散文と後世の受容を中心に研究指導を行う。具体的には、物語文学・日記文学の領域で、ある作品およびその受容作品を分析し、先行研究を精査した上で、各自のテーマに基づいて考察を進め、修士論文を執筆するまでの過程を指導する。

国文学研究指導

福 家 俊 幸

この研究指導は、主として中古の物語・日記・随筆などを取り上げ、その講読を通じ本文・主題・構造・方法などを考究する。

先行研究をいかに踏まえ、いかに自らの論を構築するかを演習授業を通して考える。併せて、受講者の関心に応じて中古文学の教材化の問題も取り上げる。

一方で修士論文作成に向けて各自の研究テーマをまとめるための発表を繰り返し行う。

国文学研究指導

田 淵 句 美 子

平安時代後半から中世（鎌倉時代～室町時代）における韻文とその周辺を中心に、研究指導を行う。具体的には、和歌文学・日記文学・女房文学の領域で、ある作品を精読して分析し、先行研究を精査し、作者や伝本について調査し、各自のテーマに基づいて考察を進め、自分の知見を磨き上げて、修士論文を執筆するまでの準備と過程を指導する。

国文学研究指導

内 山 精 也

中国における中国古典研究が正常化し、求心力を高めている現状のなかで、日本の関連研究もその存在意義が改めて問われている。日本の伝統的な強みを再認識しつつも、独自性を自覚的に強化する必要性に迫られているとあってよい。このような観点から、われわれはまず足許を見つめる作業から始めなければならないであろう。すなわち、訓読の意義、そして中国古典の受容と再生産等々から今一度考え直す必要がある。その上で、日本人の作った漢詩文に光を当ててゆきたい。それは、研究の独自性を担保するだけでなく、漢文教育の新教材開発へと直結するプロセスとなるであろう。

国文学研究指導

石 原 千 秋

修士論文の作成に向けて、幅広く近代文学・現代文学を読む。そのために、ディスカッション、アドバイス、添削を行う。テーマ設定、研究方法についてアドバイスは惜しみませんが、基本は学生の主体性を重んじます。

国文学研究指導

金 井 景 子

修士論文の執筆に向けて、

- 1、対象となる資料体の調査
- 2、先行研究の批評
- 3、持論の提示
- 4、論文の執筆

を実施し得るように支援します。それを研究することにどのような意味があるのか自問自答を重ねることも重要です。そうした問いかけもして行きます。

国文学研究指導

五味 淵 典 嗣

日本近現代文学の専門的研究の土台となる修士論文執筆に向けた指導・支援を行う。とくに、対象となる作品や資料の精読に加え、研究対象の歴史的・社会的な位置づけや隣接する学問領域との接点など、幅広い視野で問題意識を深めていくことを重視する。

国文学研究指導

和 田 敦 彦

指導においては、メディアと読者の関係に軸をおきながら、近代の表現について様々な角度から問題にしていけます。文献資料の購読、調査、整理の実践、及び口頭発表やディスカッションを通しての問題意識の明確化、そして幅広い研究方法に対する知識を身につけながら、各自の自身の問題を掘り下げていきます。

[英語教育専攻]

英語科教育研究指導

折 井 麻 美 子

本研究指導は、英語教授法、教材開発、各技能の指導法（特に発音や聴解指導、スピーキング指導）、外国語習得理論などをテーマとした修士論文執筆に役立つ、データ収集の方法論について学びます。専門テキストとともに、自分の研究テーマに関連する論文を読んでサマリーを作成することを通じて、データ収集手法について深く学びます。

英語科教育研究指導

澤 木 泰 代

本研究指導は、言語テスト研究を中心に応用言語学・英語教育研究に関連する様々なテーマに関する知識と、実証研究の手法を身につけることを目指す。言語テストは、言語の指導、学習との連携により第二言語習得を支えるものである。従って、言語テスト理論、第二言語習得、教育評価などの視点から言語テストについて検討する。また、質的・量的研究手法の両方について基礎を身につけることで、多角的に研究テーマに取り組めるよう指導する。

英語科教育研究指導

原田 哲男

第二言語習得を研究テーマとする。実践に即役立つ指導法を求めるのではなく、外国語学習の理論的側面を重視し、学習・教授上の問題に直面した際に、自分でデータを収集・分析し、原因を探れるようになることを目標とする。修士では、あまり専門的な分野に固執せずに、外国語学習のメカニズムを、母語習得、母語と第二言語との関係、第二言語習得のプロセス、インプット・アウトプット・インタラクションの役割、教室での言語学習、言語以外の要素（学習開始年齢、適性、動機付け）等の観点から考察する。なお、修士論文のテーマは、第二言語習得、外国語教育（英語教育、日本語教育）等の分野であることが望ましい。担当教員の最近の研究動向（イマージョン教育や早期外国語教育の音声習得が中心）は、researchmap にアクセスし研究者の名前で検索するか、次のリンク (<https://researchmap.jp/read0129869/>) から参照できる。

英語科教育研究指導

オオガ-ボールドウィン ウィリアム

学校現場に貢献できる指導要因・方法を中心に研究する。初等・中等教育の学習環境、モチベーションとエンゲージメントの関係、または教員がそれぞれの要因に影響を及ぼせる方法を、現場を中心に探れる研究者を養成する。また、学習意欲・動機付けに関する普遍的な理論について指導する。研究法や統計法について興味があることが望まれる。

英語科教育研究指導

佐々木 みゆき

本研究指導では、人はなぜ、どのように第2、第3の言語で書く力を発達させるのか、それはどのように第1の言語で書く力と関わるのかについての学問である、「第二言語ライティング論」について学び、興味があるトピックで論文を書く手助けをします。具体的には、(1) 関係する基礎概念、背景となる思想と研究方法の変遷を学ぶ、(2) 関連論文の構成を学び、興味のある論文を系統だてて読む、(3) 妥当性があり実行可能な Research Questions を問う研究を企画する、という順序で授業を進めます。

英語科教育研究指導

マキュワン 麻哉

研究指導では、言語習得に影響を与えるとされるさまざまな学習者要因（動機づけ、不安、性格、バーンアウト、ストレスなど）を取り扱います。このテーマは、応用言語学、教育心理学、社会心理学など複数の分野にまたがるため、院生の皆さんには、応用言語学や心理学における様々な関連の理論や実践方法を網羅し、実証研究に取り組んでいたきたいと思います。

英語科教育研究指導

木村 大輔

グローバル社会における英語と多言語コミュニケーションについて探究する。学術的・社会的だけでなく個人的にも意義のある研究を遂行するために、テーマ設定、文献調査、データ収集・分析、論文執筆等について柔軟な指導を行う。

キーワード： 応用言語学、社会言語学、語用論、世界の英語（World Englishes）、共通語としての英語（English as a lingua franca）、会話・談話分析、言語景観、言語イデオロギー、多言語コミュニケーション、マルチモダリティ、トランスリンガリズム、異文化コミュニケーション

英語学研究指導

久野 正和

私の研究室では、生成文法の統語論を中心とした研究指導をしています。近年では、特に統語論と数学の融合を目指しています。具体的には、極小主義における併合を数学の加法と乗法に対応させることで、移動の根本理由は共通因数の括り出し（因数分解）であるという数学的主張を提案しました。また、移動の局所性条件は数学の式変形と同じ原理によって説明可能であることも示しました。併合と移動以外でも、否定一致表現を虚数単位 i とする分析や、多重指定部の *abba* 型構造をハノイの塔の数理に帰着する発想など、統語論と数学の間を自由に行き来しながら、日々研究を続けています。学生指導においては、統語論研究を中心に据えながら、数学、物理学、生物学などのサイエンス全体にも精通した射程の広い研究者に成長してもらえるように、心掛けています。

英語学研究指導

バックハウス ペート

社会の中の言語を対象としたテーマの研究を指導する。（社会）言語学の理論的背景の知識を深めるとともに、研究方法、データ収集と分析、また研究結果をプレゼンテーションや論文で発表するスキルを身につける。自立した、アカデミック英語の読み書きに堪能な学生が対象である。

英語学研究指導

新川 清治

本研究指導では言語研究における歴史的視点の獲得を目指す。知っておくべきことはいくらでもあり、研究テーマによって優先順位も変わってくるため、具体的な修士論文作成指導の過程で必要な知識を身につけてもらう。時期や分野は問わないが、担当教員自身は現在、初期中英語期の形態論、統語論を中心に扱っている。

イギリス文学研究指導

虹 林 慶

イギリス文学に関する知識・教養を深め、学術活動に必要なアカデミック・スキルズを身につけることで、修士論文の執筆が行えるように指導します。なお、19世紀の詩や散文などが担当教員の専門領域ですが、それ以外の領域についても対応します。

アメリカ文学研究指導

佐久間 由 梨

アメリカ文学・文化研究の基礎的な技能（資料収集、先行研究の調査、アカデミック・ライティング、日本語・英語によるプレゼンテーション、議論および意見の共有など）を養成し、質の高い修士論文へと結実させることが目標です。研究職を志す学生には、(1)修士論文を発展させ学術誌に投稿すること、(2)アメリカの大学院（修士・博士課程）へと進学することを目標とした指導も行います。担当教員の専門領域は19世紀から現代までのアフリカ系アメリカ人文学・文化・音楽およびポピュラー音楽研究ですが、研究指導の範囲はそれらに限らず、アメリカに関連する分野全般とします。

アメリカ文学研究指導

和 氣 一 成

担当者の専門分野は主にアメリカ20世紀モダニズム以降の文学、文化（映画）であり、特に批評理論、人種、階級、ジェンダーと複合的トラウマの表象を主な研究対象としている。自らの設定したテーマに基づいた修士論文の完成に向けて、批評理論をきちんと踏まえた上で先行研究を精査、検証し、自らの研究報告とそれについての討論を通して、学会報告や論文投稿の執筆ができるよう指導を行う。

[社会科教育専攻]

社会科教育研究指導

池 俊 介

社会科教育論の諸分野のうち、主として地理教育論に関する指導を行う。近年の地理教育は、「地理的見方・考え方」や「地理的スキル」の重視など、大きな変革を遂げつつある。こうした現代的な課題の検討を重視するが、地誌学習・地理教育史など地理教育論の基礎的な課題についても取組みたい。地理教育論の研究には、教育学・歴史学など地理学以外の諸科学に関する知識や広い視野が求められるが、当然ながら地理学についての基礎的な学識を備えていることが前提とされる。そのため、学部で地理学を専攻していることが望ましい。

社会科教育研究指導

近 藤 孝 弘

公民教育・歴史教育を中心に研究指導を行う。左の二つの領域は、過去と現在の世界を捉える連続した営みであると同時に、それら自身が今日の世界の一部なのであり、その意味でも両者は緊密に結びついている。このように意識的に広い視野を維持することにより、修士論文執筆の支援を中心に、受講生が歴史・文化・国家・社会等の基礎的視点について、より批判的かつ洗練された理解を獲得し、その上で独自の研究成果を残せるように指導する。

歴史学研究指導

高 木 徳 郎

日本の平安時代から戦国時代（10～16世紀）における政治・経済・社会・文化に関する諸問題を歴史学的に考察する上で必要なスキルを修得するための研究指導を行う。担当者の専門分野は、日本中世の荘園史・村落史および環境史であるが、研究指導は、学生の関心や個性を尊重しつつ、幅広い視野から問題意識と方法論を磨き上げ、着実な史料批判と独自の分析に基づいた、意義ある修士論文の作成に至るまでの指導を行う。なお、どのようなテーマであれ、素材を多角的に検討するための現地調査・史料調査は必須であるので、そうしたノウハウを積極的に吸収してもらいたいと考えている。

歴史学研究指導

大 橋 幸 泰

日本近世史（16C末-19C中）の諸問題を材料に、歴史学を専攻するうえで必要な、史料の読解力と研究史の把握力を鍛える。その際、前近代的要素と近代的要素の両方の側面を総合的に捉えることにより、近世の固有性を追究することに力点を置く。とりわけ歴史に向き合う姿勢として、生活者の視点を大事にし、政治・経済・文化の諸相を複眼的に捉える訓練を行う。また、日本近世史を専門としつつも、歴史学の社会的責務についても考えていく。歴史研究者・博物館学芸員・歴史教員など、歴史学を一生の仕事にすることを希望する者の応募を求める。

歴史学研究指導

石 濱 裕 美 子

担当教員の専門分野は13世紀から現代に至るまでのチベット・モンゴル史、ならびにチベット仏教世界と満州人王朝清との関係史である。資料を読解する力をつけていく傍ら、それぞれの言語史料の有する特徴とその限界について学びつつ、現代の諸研究者による歴史記述の問題点について学んでいく。しかし、院生各自の問題関心にも対応する。

歴史学研究指導

小松香織

主にトルコ近代史を研究対象として、受講者の問題関心や研究テーマを考慮しつつ、さまざまな種類のトルコ語・オスマン語史料を読み、修士論文作成に向けて指導を行う。

担当者の専門分野はトルコ近現代史であるが、研究指導においては、主要史料言語がオスマン語、トルコ語であるオスマン帝国、トルコ共和国、一部中央アジアのトルコ系諸民族の歴史であれば、近現代史に限らず、政治史、社会経済史、文化史、思想史などといったジャンルを問わず、広く院生各自の問題関心に対応する。

歴史学研究指導

堀越宏一

担当者の専攻は、フランス語圏を中心とした中近世ヨーロッパ史である。大学院の授業では、古代から17世紀ころまでの前近代ヨーロッパ史に関する研究のための基本的技術の修得を目指しつつ、同時に、参加者による前近代ヨーロッパ史を対象とした修士論文の制作に資するために、ラテン語ないしヨーロッパ諸言語で書かれた史料と研究文献の講読を通して、研究指導を行う。

歴史学研究指導

小森宏美

東欧・ロシア近現代史研究は1980年代後半以降、大きく変貌を遂げてきた。それをふまえ、授業では社会の変化と歴史の関係に注意を払いつつ、先行研究を読み解く訓練を行う。研究指導は、院生各自の問題関心を尊重するが、国民国家の歴史の枠に限定せず、歴史叙述の主体と対象の問題についても考えていきたい。

地理学研究指導

久保純子

担当者の専門分野は自然地理学（地形学・第四紀学）で、おもに「平野」の地形を対象としている。最近の研究テーマとしては、関東平野における第四紀の地形・環境変化、日本やアジアをフィールドとした先史時代・歴史時代の平野の環境、自然災害と地形などがある。研究室ではフィールドワークを重視しつつ各人がオリジナルな成果をあげることがをめざし、それとともに他大学や学会・研究会との交流や野外巡検なども活発におこないたい。

(担当者の web site <http://www.f.waseda.jp/sumik/>)

地理学研究指導

箸本健二

担当教員の専門分野は経済地理学および都市地理学であり、特に大都市圏における商業立地や、地方都市の中心市街地問題とその活性化を主な研究テーマとしている。研究指導では、学生の問題意識や関心を尊重しつつ、産業システムの空間的展開を経済地理学的視点から解釈し、修士論文に収斂するための諸段階について指導する。また研究指導の一環として、現地調査ならびに他大学院との合同勉強会（インターゼミ）を実施する。

地理学研究指導

山内昌和

担当者の専門分野は人口地理学および農山漁村地理学である。研究上の関心は持続的な地域社会の仕組みを探ることとあり、最近では地域における人口・家族・世帯の変化と就業・産業構造の変容との関連の解明が研究課題である。研究指導では、学生の関心を尊重しつつ、先行研究の検討、統計等各種資料や野外調査から得たデータの分析、課題設定に応じた考察をバランスよく行うことを特に重視し、修士論文作成に向けた指導を行う。

政治学研究指導

遠藤美奈

担当者の問題関心は、人間生活に必要なニーズの充足に公権力は憲法上どのような義務を負うかにある。研究指導では、憲法に関わる修士論文の完成に向けて、憲法の解釈論及び憲法理論に関する文献講読を行い、それぞれの問題意識を明確化するとともに、各人の研究報告とそれに対する討論を通じて、論文における論証を学問的検討に耐える水準に鍛えてゆく作業を行う。

経済学研究指導

熊谷善彰

株式・債券・為替・商品などの市場の価格変動メカニズムの分析、企業・家計などの経済主体がリスクのある状況で行う意思決定についてファイナンス理論を応用した分析を主要な対象とする。当該分野の基礎的な文献ならびに学生の研究テーマに関連した先行研究の講読と各人の研究報告を通じて修士論文の作成を支援する。

社会学研究指導

若林幹夫

都市、メディア、空間、時間、身体等を対象とする社会学理論、比較社会学、現代社会論を専門とする。社会学のみならず隣接する社会諸科学や人文諸科学等も視野に入れた文脈の中に各自の問題意識を位置づけ、必要な知識や教養を身につけ、文献の講読、レジュメや草稿の執筆、報告、討論を繰り返し、研究を深化させて修士論文に結実させるための訓練と指導をおこなう。

社会学研究指導

野上元

担当教員の専門は、歴史社会学と戦争社会学である。前者は、歴史研究一般に近い歴史社会学と、歴史認識や記憶、メディア・表象分析に焦点を当てる「歴史の社会学」の両方を含む。また後者は、「戦争・軍隊と社会」に関わる歴史的・現代的なテーマを広く扱う。学生の興味関心を最大限尊重するが、どのようなテーマであれ、様々な対象・資料にアプローチする調査・データ分析に関わる実証的な社会学的想像力を持ってもらうよう指導する。

[数学教育専攻]

数学科教育研究指導（教科内容・方法） 宮川 健

数学教育学に関する研究指導を行う。数学という学問・知識体系の性格の検討を通して、数学の学習がなぜ難しいのか、特定の形態の指導がどのような学習をもたらすのか、などといった研究に取り組む。数学の指導や学習の営みを理解することが主たる課題である。具体的には、幅広い研究テーマが可能である。これまで担当者は、論証指導、数学の授業や学習過程、テクノロジー利用、教師教育などの研究を進めてきた。

数学科教育研究指導（教育情報・評価） 高木 悟

教育情報の分析や評価などに関連して、テスト理論やファジィ理論、ラフ集合理論に関する数学的な基礎とその応用方法についての演習を行なう。テスト理論については、S-P 表分析や CMI システムなどの基礎と応用についての研究を行なう。また、ファジィ理論・ラフ集合理論については、教材構造分析や教育評価システムなどの基礎と応用についての研究を行なう。これらのテーマは、いずれも教育情報工学の新しい研究課題であり、現在のような情報化時代の数学教育に有用である。

解析学・応用解析学研究指導 新井 仁之

主にフレーム理論とその応用及びその関連分野に関する研究指導を行う。

解析学研究指導 梁 松

解析学の一分野として、確率論や確率解析に関する研究指導を行う。必要に応じて基礎知識を学んだ後、関連する研究分野の中から学生の希望も考慮して研究テーマを決める。その後、テーマに関する適切なテキストや先行研究の文献を選び、セミナー形式を中心として数学研究の進め方も含めて指導する。特に、常に論理的思考ができることは、卒業後の活躍にも役立つと考えている。

解析学研究指導 戸松 玲治

関数解析学や作用素環論に関する研究指導を行う。C*環や von Neumann 環の基礎理論を学んだ上で、さらに発展的な内容をいくつかのトピックの中から選び研究する。具体的には、富田・竹崎理論、subfactor 理論、テンソル圏、量子群、エルゴード理論など。

代数学研究指導 村井 聡

可換環に関する代数的な研究か凸多面体の組合せ論に関する研究についての指導を行う。代数的な研究を希望する場合、可換環論の基礎知識を学習し、組合せ論と関連する代数に関する研究やグレブナー基底などを用いて計算代数に関連する研究を行う。組合せ論的な研究を希望する場合、凸多面体論の基礎を学び、面の個数の数え上げ論に関する研究を行う。

幾何学研究指導 小森 洋平

複素解析幾何の話題としてリーマン面やゼータ関数、フックス群やクライン群などの離散群の幾何を扱う。または多面体の面に関する鏡映変換群に関する幾何について研究を行う。また幾何教育のテーマとして、平面代数曲線論などの射影幾何学の研究も行う。

情報数学研究指導 高島 克幸

暗号理論、暗号数理、計算数論に関する研究指導を行う。それら研究分野において、計算機科学的アプローチと数理科学的アプローチを組み合わせた視点からの研究を行う。学生の希望に応じて、研究遂行における両アプローチの比重を決めて、その指導方針に従って、最新の研究論文や当該分野の基本文献に基づいたセミナーを行う。基礎力を固めるのと同時に、自身で研究を進めていけるように指導していく。

トポロジー研究指導 谷山 公規

結び目理論、特にその中でも空間グラフ理論を専門としている。また3、4次元多様体論、位相幾何学的グラフ理論、一般位相空間論、トポロジーと関わる微分幾何学などにも興味を持っている。これらの話題の中から学生の希望によって研究テーマを決める。適当なテキストや論文によるセミナーを主体として数学研究の進め方を指導する。また関連する国内外の研究会、談話会、セミナーなどへの積極的な参加も奨励する。

トポロジー研究指導 山口 祥司

3次元位相幾何学および結び目理論に関する研究指導を行う。低次元位相幾何学、結び目理論および双曲幾何学に関わる内容から研究テーマを決める。研究テーマに関連する多様体論、結び目理論や双曲幾何学の基礎理論を学習した上で、研究テーマに沿って発展的な内容を選び研究を行う。

V. 各コード一覧

1. 都道府県コード

都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード
北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38	海外	99
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40		

2. 設置区分コード

設置区分	コード	設置区分	コード	設置区分	コード
国立	1	私立	3	その他	6
公立	2	通信教育	5	海外	9

3. 課程区分コード

課程区分	コード
学部卒業(見込)の場合	理科系学部卒(見込) → 25
	文科系学部卒(見込) → 26

4. 学部コード(早稲田大学出身者のみ記入)

学部	コード	学部	コード	学部	コード
政治経済学部	11	理工学部	17	文学部	24
法学部	12	社会科学部	18	人間科学部(通信)	25
第一文学部	13	人間科学部	19	基幹理工学部	26
第二文学部	14	スポーツ科学部	20	創造理工学部	27
教育学部	15	国際教養学部	21	先進理工学部	28
商学部	16	文化構想学部	23		

5. 受験外国語コード(一般入試のみ/英語教育専攻受験者は不要)

受験外国語	コード	受験外国語	コード	受験外国語	コード
英語	1	フランス語	3	ロシア語	5
ドイツ語	2	中国語	4	スペイン語	6

6. 研究指導コード

※募集する研究指導は変更になる場合があります。出願の際は必ず最新の要項で研究指導をご確認ください。
変更した場合は、Web サイト各入学試験要項の変更履歴にも掲載します。

※★印の研究指導は、2026年4月1日以降は退職に伴い廃止となります。

[学校教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
110	教育学研究指導	藤井 千春
116	教育史研究指導	三上 敦史
121	教育哲学研究指導	坂倉 裕治
127	教育内容・方法研究指導	根津 朋実
131	学校経営学研究指導	菊地 栄治
142	教育工学研究指導	三尾 忠男
143	初等教育学研究指導	河村 茂雄
144	初等教育学研究指導	佐藤 隆之
147	初等教育学研究指導	大泉 義一
148	初等教育学研究指導	佐藤 寛之
151	発達・教育心理学研究指導	上淵 寿
156	臨床心理学研究指導	堀 正士
160	教育評価・測定研究指導	椎名 乾平
165	障害・神経心理学研究指導	坂爪 一幸
170	学校心理学研究指導	本田 恵子
171	特別支援教育学研究指導★	梅永 雄二
173	社会心理学研究指導	安達 智子
175	教育社会学研究指導	吉田 文
180	社会教育学研究指導	小林 敦子
181	社会教育学研究指導	坂内 夏子
186	社会教育学研究指導	矢口 徹也
192	生涯教育学研究指導	濱中 淳子

[国語教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
207	国語科教育研究指導	幸田 国広
211	国語科教育研究指導	菊野 雅之
231	日本語学研究指導	松木 正恵
235	国文学研究指導	松本 直樹
240	国文学研究指導	福家 俊幸
241	国文学研究指導	新美 哲彦
255	国文学研究指導	田淵 句美子
271	国文学研究指導	内山 精也
291	国文学研究指導★	石原 千秋
280	国文学研究指導	金井 景子
293	国文学研究指導	五味淵 典嗣
292	国文学研究指導	和田 敦彦

[英語教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
311	英語科教育研究指導	折井 麻美子
321	英語科教育研究指導	澤木 泰代
330	英語科教育研究指導	原田 哲男
331	英語科教育研究指導	オオガ・ボールドウィン ウィリアム
332	英語科教育研究指導	佐々木 みゆき
333	英語科教育研究指導	マキュワン 麻哉
341	英語科教育研究指導	木村 大輔
351	英語学研究指導	久野 正和
352	英語学研究指導	バックハウス ペート
353	英語学研究指導	新川 清治
363	イギリス文学研究指導	虹林 慶
372	アメリカ文学研究指導	佐久間 由梨
374	アメリカ文学研究指導	和氣 一成

[社会科教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
410	社会科教育研究指導	池 俊介
416	社会科教育研究指導	近藤 孝弘
447	歴史学研究指導	高木 徳郎
425	歴史学研究指導	大橋 幸泰
446	歴史学研究指導	石濱 裕美子
441	歴史学研究指導	小松 香織
428	歴史学研究指導	堀越 宏一
431	歴史学研究指導	小森 宏美
450	地理学研究指導	久保 純子
456	地理学研究指導	山内 昌和
460	地理学研究指導	箸本 健二
466	政治学研究指導	遠藤 美奈
473	経済学研究指導	熊谷 善彰
480	社会学研究指導	若林 幹夫
481	社会学研究指導	野上 元

[数学教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
515	数学科教育研究指導 (教科内容・方法)	宮川 健
525	数学科教育研究指導 (教育情報・評価)	高木 悟
531	解析学・応用解析学研究指導	新井 仁之
532	解析学研究指導	梁 松
533	解析学研究指導	戸松 玲治
541	代数学研究指導	村井 聡
551	幾何学研究指導	小森 洋平
565	情報数学研究指導	高島 克幸
570	トポロジー研究指導	谷山 公規
574	トポロジー研究指導	山口 祥司

7. 出身大学コード

【国立大学】

0044 愛知教育大学
0012 秋田大学
0006 旭川医科大学
0015 茨城大学
0009 岩手大学
0017 宇都宮大学
0066 愛媛大学
0108 大分大学
0088 大分医科大学
0052 大阪外国語大学
0053 大阪教育大学
0051 大阪大学
0061 岡山大学
0004 小樽商科大学
0031 お茶の水女子大学
0005 帯広畜産大学
0093 香川医科大学
0105 香川大学
0077 鹿児島大学
0037 金沢大学
0096 鹿屋体育大学
0007 北見工業大学
0041 岐阜大学
0071 九州工業大学
0069 九州大学
0049 京都教育大学
0050 京都工芸繊維大学
0048 京都大学
0074 熊本大学
0018 群馬大学
0106 高知大学
0055 神戸商船大学
0054 神戸大学
0019 埼玉大学
0087 佐賀医科大学
0107 佐賀大学
0080 滋賀医科大学
0047 滋賀大学
0042 静岡大学
0083 島根医科大学
0104 島根大学
0089 上越教育大学
0040 信州大学
0100 政策研究大学院大学
0097 総合研究大学院大学
0020 千葉大学
0016 筑波大学
0111 筑波技術大学
0032 電気通信大学
0022 東京医科歯科大学
0102 東京海洋大学
0023 東京外国語大学
0024 東京学芸大学
0026 東京芸術大学
0027 東京教育大学
0028 東京工業大学

0029 東京商船大学
0030 東京水産大学
0021 東京大学
0025 東京農工大学
0010 東北大学
0064 徳島大学
0059 鳥取大学
0094 図書館情報大学
0082 富山医科薬科大学
0110 富山大学
0085 豊橋技術科学大学
0084 長岡技術科学大学
0045 名古屋工業大学
0043 名古屋大学
0073 長崎大学
0056 奈良教育大学
0099 奈良先端科学技術大学院大学
0057 奈良女子大学
0095 鳴門教育大学
0035 新潟大学
0079 浜松医科大学
0033 一橋大学
0092 兵庫教育大学
0008 弘前大学
0062 広島大学
0090 福井医科大学
0103 福井大学
0068 福岡教育大学
0014 福島大学
0098 北陸先端科学技術大学院大学
0002 北海道教育大学
0001 北海道大学
0046 三重大学
0011 宮城教育大学
0081 宮崎医科大学
0109 宮崎大学
0003 室蘭工業大学
0013 山形大学
0063 山口大学
0101 山梨大学
0034 横浜国立大学
0078 琉球大学
0058 和歌山大学
000E 海外・その他

【その他の大学・大学校】

0991 放送大学
9002 防衛大学校
9003 職業能力開発総合大学校
9004 防衛医科大学校

【公立大学】

1095 愛知県立大学
1053 愛知県立看護大学
1012 愛知県立芸術大学
1045 会津大学
1064 青森県立保健大学
1044 青森公立大学
1065 秋田県立大学
1102 秋田公立美術大学
1071 石川県立看護大学
1087 石川県立大学
1051 茨城県立医療大学
1060 岩手県立大学
1081 愛媛県立医療技術大学
1063 大分県立看護科学大学
1017 大阪女子大学
1018 大阪市立大学
1049 大阪府立看護大学
1083 大阪府立大学
1047 岡山県立大学
1068 沖縄県立看護大学
1036 沖縄県立芸術大学
1076 尾道市立大学（尾道大学）
1080 香川県立保健医療大学
1078 神奈川県立保健福祉大学
1006 金沢美術工芸大学
1028 北九州市立大学
1072 岐阜県立看護大学
1008 岐阜薬科大学
1029 九州歯科大学
1014 京都市立芸術大学
1016 京都府立医科大学
1015 京都府立大学
1038 釧路公立大学
1032 熊本県立大学
1086 群馬県立県民健康科学大学
1034 群馬県立女子大学
1067 県立長崎シーボルト大学
1025 県立広島女子大学
1027 高知県立大学（高知女子大学）
1096 高知工科大学
1084 県立広島大学
1020 神戸市外国語大学
1055 神戸市看護大学
1021 神戸商科大学
1109 公立小松大学
1101 公立鳥取環境大学（鳥取環境大学）
1069 公立はこだて未来大学
1079 国際教養大学
1066 埼玉県立大学
1001 札幌医科大学
1090 札幌市立大学
1091 産業技術大学院大学
1054 滋賀県立大学
1037 静岡県立大学
1009 静岡女子大学
1098 静岡文化芸術大学

2305	関東学園大学	2185	皇學館大学	2398	静岡産業大学
2527	畿央大学	2233	甲子園大学	2538	静岡福祉大学
2057	北里大学	2431	高知工科大学	2468	静岡文化芸術大学
2372	吉備国際大学	2235	甲南女子大学	2376	静岡理工科大学
2567	岐阜医療科学大学	2234	甲南大学	2457	至誠館大学 (山口福祉文化大学・萩国際大学)
2161	岐阜経済大学	2476	神戸医療福祉大学(近畿医療福祉大学)	2069	芝浦工業大学
2163	岐阜女子大学	2236	神戸海星女子学院大学	2031	自治医科大学
2164	岐阜聖徳学園大学	2237	神戸学院大学	2068	実践女子大学
2495	九州栄養福祉大学	2365	神戸芸術工科大学	2222	四天王寺大学(四天王寺国際仏教大学)
2445	九州看護福祉大学	2247	神戸国際大学	2639	社会情報大学院大学(社会構想大学院大学)
2273	九州共立大学	2579	神戸夙川学院大学	2319	就実大学
2286	九州国際大学	2238	神戸女学院大学	2592	修文大学
2274	九州産業大学	2239	神戸女子大学	2346	秀明大学
2443	九州情報大学	2594	神戸常盤大学	2419	十文字学園女子大学
2275	九州女子大学	2241	神戸松蔭女子学院大学	2043	淑徳大学
2289	九州東海大学	2558	神戸情報大学院大学	2193	種智院大学
2458	九州保健福祉大学	2242	神戸親和女子大学	2615	純真学園大学
2432	九州ルーテル学院大学	2555	神戸ファッション造形大学	2070	順天堂大学
2451	共愛学園前橋国際大学	2240	神戸薬科大学	2465	松蔭大学
2484	共栄大学	2456	神戸山手大学	2304	尚綱大学
2577	京都医療科学大学	2251	高野山大学	2515	尚綱学院大学
2187	京都外国語大学	2026	郡山女子大学	2381	城西国際大学
2188	京都学園大学	2064	国学院大学	2037	城西大学
2612	京都華頂大学	2409	国際医療福祉大学	2071	上智大学
2629	京都看護大学	2065	国際基督教大学	2631	湘南医療大学
2192	京都光華女子大学	2326	国際大学	2146	湘南工科大学
2189	京都産業大学	2421	国際仏教学大学院大学	2462	尚美学園大学
2547	京都情報大学院大学	2330	国際武道大学	2033	上武大学
2190	京都女子大学	2066	国士館大学	2537	情報セキュリティ大学院大学
2317	京都精華大学	2602	こども教育宝仙大学	2331	昭和音楽大学
2378	京都造形芸術大学	2388	駒沢女子大学	2073	昭和女子大学
2194	京都橘大学	2067	駒澤大学	2072	昭和大学
2197	京都ノートルダム女子大学	2036	埼玉医科大学	2074	昭和薬科大学
2622	京都美術工芸大学	2485	埼玉学園大学	2075	女子栄養大学
2424	京都文教大学	2306	埼玉工業大学	2076	女子美術大学
2191	京都薬科大学	2584	サイバー大学	2550	白梅学園大学
2058	共立女子大学	2492	嵯峨美術大学(京都嵯峨芸術大学)	2077	白百合女子大学
2059	共立薬科大学	2147	相模女子大学	2490	仁愛大学
2060	杏林大学	2591	佐久大学	2078	杉野服飾大学
2588	桐生大学	2361	作新学院大学	2171	相山女学園大学
2221	近畿大学	2559	札幌大谷大学	2377	鈴鹿医療科学大学
2170	金城学院大学	2003	札幌学院大学	2399	鈴鹿大学(鈴鹿国際大学)
2467	金城大学	2386	札幌国際大学	2337	駿河台大学
2061	国立音楽大学	2002	札幌大学	2504	諏訪東京理科大学
2291	熊本学園大学	2626	札幌保健医療大学	2391	成安造形大学
2528	熊本保健科学大学	2590	三育学院大学	2344	聖学院大学
2414	倉敷芸術科学大学	2314	産業医科大学	2357	聖カタリナ大学
2255	くらしき作陽大学	2315	産業能率大学	2079	成蹊大学
2308	久留米工業大学	2400	山陽学園大学	2529	星槎大学
2276	久留米大学	2318	志學館大学	2312	星槎道都大学(道都大学)
2562	グロービス経営大学院大学	2174	至学館大学(中京女子大学)	2080	成城大学
2499	群馬医療福祉大学	2620	事業構想大学院大学	2507	星城大学
2549	群馬パース大学	2566	事業創造大学院大学	2081	聖心女子大学
2044	敬愛大学	2616	滋慶医療科学大学 (滋慶医療科学大学院大学)	2518	清泉女学院大学
2062	慶應義塾大学	2271	四国学院大学	2082	清泉女子大学
2349	恵泉女学園大学	2269	四国大学	2520	聖泉大学
2375	敬和学園大学	2554	四條畷学園大学	2367	聖徳大学
2519	健康科学大学	2506	静岡英和学院大学	2230	聖トマス大学(英知大学)
2063	工学院大学				

2277	西南学院大学	2545	デジタルハリウッド大学	2023	東北生活文化大学
2403	西南女学院大学	2248	帝塚山大学	2021	東北福祉大学
2452	西武文理大学	2225	帝塚山学院大学	2448	東北文化学園大学
2535	聖母大学	2502	田園調布学園大学	2607	東北文教大学
2572	聖マリア学院大学	2459	天使大学	2363	東洋英和女学院大学
2148	聖マリアンナ医科大学	2624	天理医療大学	2382	東洋学園大学
2383	聖隷クリストファー大学	2249	天理大学	2114	東洋大学
2083	聖路加国際大学(聖路加看護大学)	2267	東亜大学	2280	東和大学
2243	聖和大学	2350	桐蔭横浜大学	2455	常磐会学園大学
2394	清和大学	2323	東海学院大学(東海女子大学)	2328	常磐大学
2302	摂南大学	2412	東海学園大学	2270	徳島文理大学
2084	専修大学	2095	東海大学	2266	徳山大学
2149	洗足学園音楽大学	2603	東京有明医療大学	2320	常葉大学(常葉学園大学)
2417	仙台白百合女子大学	2096	東京医科大学	2032	獨協医科大学
2018	仙台大学	2619	東京医療学院大学	2040	獨協大学
2525	千里金蘭大学	2551	東京医療保健大学	2494	鳥取環境大学
2223	相愛大学	2097	東京音楽大学	2633	鳥取看護大学
2085	創価大学	2098	東京家政大学	2434	苫小牧駒澤大学
2290	崇城大学	2099	東京家政学院大学	2370	富山国際大学
2530	創造学園大学	2366	東京基督教大学	2324	豊田工業大学
2244	園田学園女子大学	2100	東京経済大学	2423	豊橋創造大学
2296	第一工科大学(第一工業大学)	2334	東京工科大学	2395	長岡造形大学
2279	第一薬科大学	2151	東京工芸大学	2488	長岡大学
2643	大学院大学至善館	2035	東京国際大学	2514	長崎ウエスレヤン大学
2086	大正大学	2101	東京歯科大学	2497	長崎外国語大学
2440	太成学院大学	2102	東京慈恵会医科大学	2479	長崎国際大学
2087	大東文化大学	2422	東京純心大学(東京純心女子大学)	2404	長崎純心大学
2172	大同大学(大同工業大学)	2348	東京情報大学	2288	長崎総合科学大学
2364	高岡法科大学	2500	東京女学館大学	2159	長野大学
2482	高崎健康福祉大学	2103	東京女子大学	2632	長野保健医療大学
2483	高崎商科大学	2104	東京女子医科大学	2521	長浜バイオ大学
2088	高千穂大学	2105	東京女子体育大学	2281	中村学園大学
2426	高松大学	2106	東京神学大学	2307	名古屋音楽大学
2614	宝塚医療大学	2552	東京聖栄大学	2353	名古屋外国語大学
2341	宝塚大学(宝塚造形芸術大学)	2387	東京成徳大学	2177	名古屋学院大学
2089	拓殖大学	2107	東京造形大学	2508	名古屋学芸大学
2090	玉川大学	2641	東京通信大学	2316	名古屋経済大学
2362	多摩大学	2108	東京電機大学	2178	名古屋芸術大学
2091	多摩美術大学	2129	東京都市大学(武蔵工業大学)	2471	名古屋産業大学
2358	筑紫女学園大学	2109	東京農業大学	2179	名古屋商科大学
2433	千歳科学技術大学	2461	東京福祉大学	2180	名古屋女子大学
2534	千葉科学大学	2501	東京富士大学	2371	名古屋造形大学(名古屋造形芸術大学)
2345	千葉経済大学	2575	東京未来大学	2454	名古屋文理大学
2045	千葉工業大学	2110	東京薬科大学	2332	奈良学園大学(奈良産業大学)
2046	千葉商科大学	2111	東京理科大学	2250	奈良大学
2047	中央学院大学	2196	同志社女子大学	2182	南山大学
2092	中央大学	2195	同志社大学	2489	新潟医療福祉大学
2389	中京学院大学	2601	東都医療大学	2396	新潟経営大学
2173	中京大学	2039	東邦音楽大学	2410	新潟工科大学
2511	中国学園大学	2112	東邦大学	2397	新潟国際情報大学
2428	中部学院大学	2113	桐朋学園大学	2351	新潟産業大学
2175	中部大学	2453	桐朋学園大学院大学	2642	新潟食料農業大学
2418	筑波学院大学	2176	同朋大学	2466	新潟青陵大学
2392	つくば国際大学	2022	東北医科薬科大学(東北薬科大学)	2310	新潟薬科大学
2093	津田塾大学	2019	東北学院大学	2586	新潟リハビリテーション大学
2150	鶴見大学	2380	東北芸術工科大学	2287	西九州大学
2369	帝京科学大学	2481	東北公益文科大学	2282	西日本工業大学
2094	帝京大学	2020	東北工業大学	2115	二松学舎大学
2339	帝京平成大学	2013	東北女子大学	2117	日本医科大学

2574	日本医療科学大学	2442	広島国際大学	2411	身延山大学
2628	日本医療大学	2261	広島修道大学	2257	美作大学
2617	日本ウェルネススポーツ大学	2262	広島女学院大学	2024	宮城学院女子大学
2611	日本映画大学	2606	広島都市学園大学	2405	宮崎国際大学
2563	日本教育大学院大学	2415	広島文化学園大学(呉大学)	2343	宮崎産業経営大学
2278	日本経済大学 (第一経済大学・福岡経済大学)	2264	広島文教女子大学	2246	武庫川女子大学
2041	日本工業大学	2604	びわこ学院大学	2128	武蔵大学
2118	日本歯科大学	2522	びわこ成蹊スポーツ大学	2130	武蔵野音楽大学
2119	日本社会事業大学	2425	プール学院大学	2532	武蔵野学院大学
2120	日本獣医生命科学大学(日本獣医畜産大学)	2152	フェリス女学院大学	2131	武蔵野大学
2122	日本女子体育大学	2635	福井医療大学	2132	武蔵野美術大学
2121	日本女子大学	2157	福井工業大学	2407	名桜大学
2600	日本赤十字秋田看護大学	2513	福岡医療福祉大学(第一福祉大学)	2038	明海大学
2335	日本赤十字看護大学	2638	福岡看護大学	2134	明治学院大学
2496	日本赤十字九州国際看護大学	2284	福岡工業大学	2329	明治国際医療大学(明治鍼灸大学)
2541	日本赤十字豊田看護大学	2444	福岡国際大学	2133	明治大学
2477	日本赤十字広島看護大学	2285	福岡歯科大学	2135	明治薬科大学
2446	日本赤十字北海道看護大学	2595	福岡女学院看護大学	2184	名城大学
2123	日本体育大学	2373	福岡女学院大学	2393	目白大学
2116	日本大学	2283	福岡大学	2136	明星大学
2585	日本伝統医療科学大学院大学	2516	福島学院大学	2486	ものづくり大学
2183	日本福祉大学	2303	福山大学	2644	桃山学院教育大学
2313	日本文化大学	2402	福山平成大学	2228	桃山学院大学
2292	日本文理大学	2017	富士大学	2322	盛岡大学
2608	日本保健医療大学	2006	藤女子大学	2578	森ノ宮医療大学
2531	日本薬科大学	2181	藤田保健衛生大学	2536	八洲学園大学
2472	人間環境大学	2469	富士常葉大学	2265	安田女子大学
2463	人間総合科学大学	2199	佛教大学	2583	山口学芸大学
2025	ノースアジア大学 (秋田経済大学・秋田経済法科大学)	2125	文化学園大学(文化女子大学)	2416	山口東京理科大学
2256	ノートルダム清心女子大学	2564	文化ファッション大学院大学	2609	ヤマザキ学園大学
2226	梅花女子大学	2374	文京学院大学	2630	大和大学
2268	梅光学院大学	2042	文教大学	2503	山梨英和大学
2333	白鷗大学	2450	文星芸術大学	2158	山梨学院大学
2004	函館大学	2473	平安女学院大学	2153	横浜商科大学
2509	羽衣国際大学	2498	平成音楽大学	2621	横浜創英大学
2014	八戸工業大学	2420	平成国際大学	2610	横浜美術大学
2321	八戸学院大学(八戸大学)	2293	別府大学	2565	横浜薬科大学
2198	花園大学	2126	法政大学	2354	四日市大学
2539	浜松学院大学	2427	北翔大学(北海道浅井学園大学)	2576	四日市看護医療大学
2352	浜松大学	2007	北星学園大学	2011	酪農学園大学
2597	ハリウッド大学院大学	2593	北陸学院大学	2137	立教大学
2227	阪南大学	2300	北陸大学	2478	立志館大学
2526	東大阪大学	2596	保険医療経営大学	2138	立正大学
2408	東日本国際大学	2127	星薬科大学	2480	立命館アジア太平洋大学
2557	光産業創成大学院大学	2008	北海学園大学	2200	立命館大学
2556	ビジネス・ブレークスルー大学 (ビジネス・ブレークスルー大学院大学)	2309	北海商科大学(北海学園北見大学)	2201	龍谷大学
2401	比治山大学	2005	北海道医療大学	2356	流通科学大学
2581	姫路大学(近大姫路大学)	2009	北海道科学大学(北海道工業大学)	2029	流通経済大学
2342	姫路獨協大学	2359	北海道情報大学	2560	了徳寺大学
2245	兵庫医科大学	2636	北海道千歳リハビリテーション大学	2124	ルーテル学院大学
2580	兵庫医療大学	2311	北海道東海大学	2049	麗澤大学
2413	兵庫大学	2447	北海道文教大学	2544	LEC 東京リカールマイト [®] 大学院大学 (LEC 東京リカールマイト [®] 大学)
2599	弘前医療福祉大学	2010	北海道薬科大学	2139	和光大学
2015	弘前学院大学	2160	松本歯科大学	2140	早稲田大学
2259	広島経済大学	2505	松本大学	2460	稚内北星学園大学(育英館大学)
2260	広島工業大学	2385	松山東雲女子大学	2050	和洋女子大学
2263	広島国際学院大学	2272	松山大学	000E	海外・その他
		2327	三重中京大学		
		2294	南九州大学		